



西周著

致知啟蒙

2

下

□ 6  
3089  
2

1754



126  
169  
門口6  
號3089  
卷2

- 十三 命題諸式
- 十四 對偶互證
- 十五 及對互證
- 十六 轉換互證
- 十七 演題四圖
- 十八 首圖定則
- 十九 演題通則
- 二十 二十四軌
- 二十一 化形還元
- 二十二 拗指諸題
- 二十三 真偽易混
- 二十四 模範諸種
- 二十五 歸納開端

(proposition)

冊 二  
號 三  
函 20



致知啟蒙第二卷

第十三章 命題諸式

駿河

西

周



是ヨリ下ハ致知學ノ業前ニ涉タル所ニシテ所  
謂術ノ部ナリ前章ノ論ラヒテ誰ニモ明カニ  
知ラルヘシ致知學ノ疆域ノ内ニテハ局外中立  
ノ權ヲ許スコトナキヲ又知ラルヘシ此分拆法  
ヲ用ヒテハ黄金ト銀トノ相混ハレルニ硝酸ヲ  
灌キテ銀ハ硝酸銀ニ化シ黄金ノ殘レルヲサ

文口文堂

卷二

十

天良是非心  
テ物ヲ計リテアリ  
又計リテアラズト定  
断スルヲ莫逆嘉納  
ト云フ  
More Contradictions  
△單元ノ内ニ  
コハカ加又ハニ非  
ト定断スルヲ云フ上  
冊三十葉五ヲ見

レハ、致知學ニテハ、今解ト、総合トノ二法ニ從ヒ、  
前ノ單元ノ二ツノ内、何レニテモ、理性ノマニマ  
ニ、莫逆嘉納ヲ受ルニ、至ラスレテハ、得モ止マサ  
ルナリ、爰ニ又配偶無二 [exclusion] ノ法ト云フ  
アリ、命題ノ主位ニ配合スヘキ、属位ノ言ハ、苟モ  
是ヲ一ツ得タラハ、是即チ二ツトナキ同一ニテ  
真トノ配偶タレハ、佗シ千萬ツハ、此配偶ニアラ  
スト、知ルナリ、今「セハスナリテフ同一アラハ、イ  
モ、ロモ、ハモ、佗シ四十餘リ二ツノ文字ハ、是カ妻  
ナラスト、知ルハ、シ、サテ、カクシテ、命題ヲ得タル

〇ツノ極其ノ成ルル基ハ形質ニ就テ内包ニ考テ又下行ニ就テ度量ヲ用テモ其ニ相ハズ  
已ニツノ極トナリタル上ハ之ヲ大キクモハリクモスルニ是レ〇〇全稱ノ印ヲ用テリテ其ニ  
テ之ヲ再ビ度量觀ニ還ルトハ云フテリ  
上卷外卷四包具合ニ

時、再ヒ度量觀ト、形質觀トニ、還ルコトアリ、形質  
觀ニテ、肯定ヲ表題 [affirmative proposition] ト云ヒ、  
否定ヲ裏題 [negative proposition] トイフ、又度量觀  
ニテ、アラユルノ標シヲ主位ニ加ヘタルヲ、全稱  
ノ極 [universal term] ト名ケ、アルテフ標シヲ、加  
ヘタルヲ、特稱ノ極 [particular term] ト名ク、二ツ  
ノ者相待テテ、四ツトナル、今煩シキヲ、省クカ為  
ニ、各標シニテ示ス、ソハ〇ハ全稱トシ、〇ハ特稱  
トス、又〇ヲ肯定トシ、一ヲ否定トス、其式左ノ如  
シ  
四ツトナルトハ、全稱ト特稱ノ肯定ガニ、全稱ト特稱ノ否定ガニ、ナリ

老約中極 老極  
似非者ハ、莫職ニ者  
似約以極 中極  
御意ハ、似非ト者ナリ  
斷々極 老極  
カ御意ハ、莫職ニ者  
コニ度量觀 形質  
觀トハ上冊九章  
主属量類ノ所ニ説  
タルニ一節ハ三レテ  
上ニテ 附六ハ一章ノ  
アルトカ、其物ノ大サ  
ヲ量ルハ度量觀ナ  
ルベシナリトカ、非  
トカ定ルハ其形質ノ  
心目ノ上ニ顯ルルナ  
ニテ形質觀ナル

牛ハ獸也。牛ハ牛  
ハ牛中ノ一ニシテ獸ヲ  
云ハ下々行也然ラバ  
レヲカク獸ニ載スレバ  
黃牛ト云フハ特稱カ

○ 全称  
○ 特稱  
|| 肯定  
| 否定  
全称ハ何レ  
特稱ハ或レ  
否定ハ全称ト下ニ  
上ノ美セカテ見合

甲 全称ノ表題      乙 特稱ノ表題      丙 肯定  
丙 全称ノ裏題      丁 特稱ノ裏題      否定

サルニ、今唯數ノミヲ目的ニ取りテ、相乘シタラ

ハ、尚四ツヲ得、共ニ八ツトナルヘシ

第一 甲 ○イ一〇口

第二 乙 ○イ一〇口

第三 亞甲 ○イ一〇口

第四 亞乙 ○イ一〇口

第五 丙 ○イ一〇口

第六 丁 ○イ一〇口

或人者非之也

牛ハ獸ナリ  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也

牛ハ獸ナリ  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也

牛ハ獸ナリ  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也

牛ハ獸ナリ  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也  
或人ハ地理ヲ知者也

属位ニ全ヤリテ得ル

主位下行即種名ニテ  
属位上行即種名ナル  
時ハ主位分列又或ハ  
下下、云フ意味ヲモット  
冬テ、  
主位上行即種名属  
位下行即種名ナル  
或ハ、  
主位ハ必ズ特稱ニテ  
或ハ、  
主位ハ必ズ特稱ニテ  
或ハ、  
主位ハ必ズ特稱ニテ

第七 半丙 ○イ一〇口

第八 半丁 ○イ一〇口

サテ、前ノ如ク、唯主位ニ、全特ノ標シヲ加ヘタル

ハ、正シキ例シナレト、属位ニ、其標シヲ加フルハ、

先哲モ、其說區々ナルヲ、コハ唯考ヘテ定ムル為

ハ、ニテ、命題ニハ、シカスルニ非スサレト、爰マ

テ其考ヘ至ラスシテハ、命題モ、精シク定カナラ

スト、心得ヘシ、又此八式ノ中ニ就テモ、種々ノ說

アリテ、唯甲乙丙丁ノミヲ取ルト、其外ヲモ取ル

ト、別チアレト、唯半丙半丁ノミハ、何レモ取ル

但レ此人ハ源兵衛也ト云ハ、  
ノ式ニテ属位ノ種名全ヤリ  
マ疑ニテ源兵衛其人總稱

○此五類式ニ有テハ三九  
丁表哈美拉頓氏ノ説ニ  
ト云フ再見合スベシ

者ナレト云ヘリ、コハ、カ、ル式ニ協ヘル題ノ曾  
テヨリ、有ラサリツレハナリ、又甲乙ノ二式ハ、表  
題ニテ、イト屢用ヒニ、供フル者ニテ、主位ヲ、属位  
ノ内ニ納レテ、其類ヒニ、閉コムル者カエ、之ヲ齒  
類ノ式。[Formula of inclusion]ト名ケ、表題ノ正シ  
キ例レトス、又亞甲亞乙ノ式ハ、表題ニ用フルコ  
ト、イト稀ナリトハ、雖氏、絶テナシトハ、言難レ、是  
ヲハ、立類ノ式。[Formula of constitution]ト名ケ、主位  
ノ者ニテ、属位ノ部類ヲ、造リ立ルテフ考ヘナリ、  
譬ヘハ、人ハ皆道理ヲ知ル者ナリト云ヘハ、人ヲ

茲ノ文亞甲亞乙  
ノ二式ハ、表題  
ヤナレト用テ  
カト稀ナリト  
トハ言難レト云  
フ表ナリ

道理ヲ知ル者ヲ見  
ト即人ナキ又他ノ  
道理ヲ知ル者ヲ  
見ル人ナキ故ニ人  
ハ道理ヲ知ル者ナ  
ト即人ナキ故ニ人  
ト即人ナキ故ニ人  
ト即人ナキ故ニ人

○人ハ皆道理ヲ知ル者  
ナリコト、属位ノ極ハ人ト云  
フ極ヲ、外ニ配合スル  
ガルモノヲ、正全ナ  
ルモノヲ、然ラバ、道  
理ヲ知ラサルモノナリ、植物  
枚葉ヲ具フル者ナリ、ナ  
ド皆コト例ヲテコレヲ、属  
位ハ又他ノ主位ニハ配合ス  
ベカラカレモノナリ、但シ此等ノ  
属位ハ皆其主位ノ属  
性ナルモノナリ、○人ハ皆  
死スキモノナリト云ハ、此類  
ノ死スキモノト云フ属位ハ、  
主位ニモ配合スキモノナ  
リ、特和カ

○人ハ皆道理ヲ知ル者  
ナリコト、属位ノ極ハ人ト云  
フ極ヲ、外ニ配合スル  
ガルモノヲ、正全ナ  
ルモノヲ、然ラバ、道  
理ヲ知ラサルモノナリ、植物  
枚葉ヲ具フル者ナリ、ナ  
ド皆コト例ヲテコレヲ、属  
位ハ又他ノ主位ニハ配合ス  
ベカラカレモノナリ、但シ此等ノ  
属位ハ皆其主位ノ属  
性ナルモノナリ、○人ハ皆  
死スキモノナリト云ハ、此類  
ノ死スキモノト云フ属位ハ、  
主位ニモ配合スキモノナ  
リ、特和カ

Mediate Cognition

集ノテ、道理ヲ知ル者ノ、一類ヲ立ルト、考フルナ  
リ、又丙丁ノ二式ハ、不齒類ノ式。[Formula of ex  
clusion]ト名ケ、主位ノ者ヲ、属位ヨリ、ハ子除キ  
タル考ヘニテ、用フル所ニヨリ、言ヲ反シテ云フ  
モノカラ、イトカアル裏題ナリ、譬ヘハ、道理ヲ曉  
ラヌ者ハ皆人ニ非ルナリトナリ、如ク、道理ヲ曉  
ラヌ者ヲハ子出レ、戸ヲ閉チテ人ノ類ヒニ、齒イ  
セスト、考フルナリ、サレハ、齒類不齒類、立類ノ三  
ツヲ、命題ノ三式ト名ケ、各、度量觀ノ三、通リニ乘  
シテ六式トナレ、以テ辨證ノ考ヘヲコメナハ、何

上ノ念ト下ノ念ト相  
待テ其間ニ知ル所  
アルヲ云又其考ヲ  
辯證ノ考 *the search*

西先生曰慶ハ韓退之ノ  
原道ナラ原道ヲ初カ  
ラ一々ニ命題ノ法ニカ  
テ試ミシレ誤謬アル  
議論ハトシテモ命  
題トシテ云セカキ者  
出テ来セ  
又曰人ト論ヲシテ先方  
ノ論中ニテカレ不審ナ  
リト思フコトハ六ツテ  
題ニカテ試ミシレセ  
ハ多クテ費カセシテ  
他ノ道ヲ破ルコトヲ  
得ル

レハタ如何ナル議題カハ此六ツニ約マラサル  
コトノアルヘキ尚約ノ法ノコトニ就テ種々論  
ラフヘキコトアレトソハ口授ナラテハ悉スヘ  
クモアラヌ精レキコトハ本ツ文ニ譲リテ是ヨ  
リ先演題ノ論ラヒニカ、リナム  
第十四章 對偶互證  
前ニ論ラヒタル如クトアル主位ヨリアル属性  
ヲ拔キ出テ直チニ考ヘテ引キ示ス主位ヲ  
命證「predicate」スルト云フカクノ如クレテ得  
タル題ヲニツヨリ多ク聚メ上ノ考ヘヨリ次ノ

命題 引証

互証 引証  
演題

互証 引証  
演題  
似テ非ナ者ハ徳ヲ  
賊スル者ナリ  
癖愈ハ似テ非ル者  
故ニ癖愈ハ徳ヲ  
賊スル者ナリ  
演題 題三

考ヘテ引キ明カスヲ引証「inference」ト云フサ  
ルニ此引証又分チテニツトナシ唯單ヘニ引  
證トイヘト今以テ演題ト別ツ為ニ姑ク之ヲ互  
證ト云ヒ他レ一ツハ即チ演題「syllogism」ナリ  
トス演題ハトアル考ヘテ直チニ引キ明カサス  
シテ中間ニ媒チヲ置キ是ニ據テ引証スルモノ  
ナリ故ニ其題三ツトス互證ハ媒チヲ取ラス是  
ヲ以テ彼ヲ引証スルモノナリ故ニ其題ニツナ  
リコハ本ト命題ヨリ演題ニ移ル道ニテ之ヲ以テ  
トアル真トテ頭ハ手段トスルヨリモ題ト題

命題ニテ始メテ得タル前唱ヲ前唱ト云ヒ次ニコレヲ真偽ヲ定ムル考ニ得ル前唱ヲ後唱ト云フ也

甲前唱コトハ差等式乙後和ナリ

前唱後和コトハ本末差等式

甲前唱コトハ互言對丁後和式ナリ

此ノ如ク前唱ノ後ニテトモ後和ノ後ニテトモ又コレニ反對スルツモアリト云フテ也々々

トノ、係ハリアヲ理リ夫、辨マフル為ニ、便リアリトス、サテ、互證ニテハ、前ナル題ヲ、前唱「antecedent」ト名ケ、次ナル題ヲ、後和「consequens」ト名ケ、此後和ニテ、前唱ノ真トニ、協ヘリヤ、否ヤヲ、引證スル者ナリ、其法三ツアリ、一ツニハ、對偶法「coni-jugation」トコハ前唱ノ題ト、諷讓ニナリテ、相並ビタル題ヲ設ケテ、其協ヘリヤ、否ヤヲ、見ルナリ、二ツニハ、反對法「opposition」トコハ前唱ノ題ト、相背カハリタル題ヲ設ケテ、見ルナリ、三ツニハ、轉換法「conversion」トコハ主位ト、属位トヲ、置換

前唱後和ノ名コトハ二ツ雙ニテ先甲ヲ前唱ニ得タル題トシテコレヲ後唱トシテコレヲ後和トスルナリ

前唱トハ最初ニ得タル命題ト云フ也  
後和トハ命題ト云フ也  
總論トハ命題ト云フ也  
左ノ如ク  
甲後和  
乙後和  
丙後和  
丁後和

對偶ハ属位ノ及對セルモノヲ對偶トス

對偶五證式

前唱コレヲ偶主トシテ他題ヲ動ス者

○イロ○  
總論ハ生物也甲

○イロ○  
總論ハ生物也乙

○イロ○  
總論ハ生物也丙

○イロ○  
總論ハ生物也丁

○イロ○  
總論ハ生物也

○イロ○  
總論ハ生物也

○イロ○  
總論ハ生物也

○イロ○  
總論ハ生物也

ヘテ、見ルナリ、サテ、對偶法ニテ前唱ヲ偶主「con-jugation」ト名ケ、他レ題ヲ動カス者トシ、又後和又偶客「contrajugata」ト名ケ、動カサル者ナリトス、前唱表題ナラハ、裏ノ後和、裏題ナラハ、表ノ後和ニテ、度量ノ平称タル者ヲ、並ヘ下シ、マツ後和ノ属位ヲ、前唱ノ属位ト、全ク表裏ナル極ニ易ヘ、ソレヨリ莫逆嘉納ノ法ニカケテ、前唱ト較ヘナハ、必ス定言ヲ、易ヘスシテハ、ナラヌコトトナルナリ、サレハ、表題ハ裏題ト換ハリ、甲ノ「○イロ」ハ、丙ノ「○イロ」ナラヌ者トナリ、譬ヘ

自是以下 此篇主意

甲〇〇イリロ口前  
乙〇〇イロ口前  
丙〇〇イロ口前

對偏互證

ハ、アラユル獸ハ生物ナリテフハ、アラユル獸ハ  
死物ニ非ルナリト云フカ如ク、又裏題ハ、表題ト  
換ハリ丁ノ、〇イロ口前、〇ハ、乙ノ、〇イリロ口前  
又者トナリ、譬ヘハ、或人ハ賢人ニ非ルナリテフ  
ハ、或人ハ不賢人ナリト易ルヘシ、此法ハ唯甲ト  
丙ト及ヒ乙ト丁ト一ノミ、施スヘシ

第十五章 反對互證

反對法ハ、又合チテ、五ツトナス、ソハ、本來反對

position proper 反言對 opposition contradict

logy 實反對 opposition contrary 小反對

布系反對  
反言對  
實反對  
小反對  
差等

度同形異  
甲〇〇イロ口前  
乙〇〇イロ口前  
丙〇〇イロ口前

本來反對式

position subalternary 差等 [subalternation] ナリ本來

反對テフハ、名ニテ既ニ知ラル、如久前唱ノ真  
トテ後和ニテ助ケ頭ハス者ニハアラテ前唱ヲ  
破ラマト、立タル者ナリサレハ、前唱ノ真トナル  
ハ、後和ノ偽リ、後和ノ真トナルハ、前唱ノ偽リナ  
ルコト、<sup>上三十一</sup>三ツツツノ單元ニテ著シ譬ヘハ、〇イロ口  
口テフテ真トナリトセハ、〇イロ口テフハ、偽  
リナルコト著カク、譬ヘハ、人ハ皆死スヘキ者ナ  
リト言フテ、人ハ皆死スヘキ者ニ非ルナリト云  
フカ如ク、コハ唯甲ト丙トノ間クニ在テ、度量同

三ツツノ單元ニテ著シトハ、  
〇ハ皆死スヘキ  
モノナリ、然ラ  
ザレバ、必ズ人ニ  
非ルナリ、如ク  
人ハ皆死スヘキ  
アリ、又死スヘ  
キナリ、ヤウシ  
モノナリトハ、如  
ク、三ツツノ單元  
ニテモ云、スル  
一アルハ、カラス



及言對式

度量 形異  
 甲 〇イロロ  
 乙 〇イロロ  
 丙 〇イロロ  
 前唱 真ナク 後知 偽リ  
 後知 真ナク 前唱 偽リ

シク形質異ニシテ、ニツノ中、何レカ真トナルヘ  
 反言對ハ、甲ト丁ト、又乙ト丙トノ間タニ在テ、  
 度量モ、形質モ、共ニ異ナル者ナリ、コモ亦前唱ト  
 後和トノ中、何レカ、真トニ出ツヘクシテ、共ニ真  
 ト、共ニ偽リナルコトナシ、唯本來反對ハ、共ニ全  
 称ナレハ、言ハ、交ミニ、拒キルコトヲ得テ、譬ヘ  
 ハ、教門ハ皆善ニ導ク者ナリテ、フヲ本來反對ニ  
 テ、教門ハ皆善ニ導ク者ニ非ルナリト言ハ、其  
 真偽遠カニ、辨ヘ難キヲ、反言對ハ、全特相交ハレ  
 ハ、其真偽イト顯レ易シ、今、〇イロロ、〇イロロ

其主位ニ此屬性ノ缺ケ  
 タルヲ示スル耳、云々  
 譬ハ、教門ハ皆善ニ導  
 ク者ナリ、或、教門ハ皆  
 善ニ導ク者ニ非ルナリト  
 言ハ、其主位ニ此屬性ノ  
 缺ケタルヲ示スナリ

トセハ、真偽自ラ明カニテ、譬ヘハ、教門ハ皆善ニ  
 導ク者ナリテ、フヲ、或、教門ハ皆善ニ導ク者ニ非ル  
 ナリト言ハ、前題ノ皆テ、字、肯シテ、可ラサル  
 カ、如シ、アルハ、本來、反對ラモ、反言對ト名ケ、別ニ  
 差ノヲ、立テサルモ、アリ、此ニツハ、唯、アリテ、フヲ、ナ  
 シト、覆ヘシ言ヒテ、其主位ニ、此屬性ノ、缺ケタル  
 ヲ、示シタル耳ニテ、表裏ノ、違ヒナルヲ、實反對ハ、  
 此屬性ニ、相反セル實ヲ、當テタリ、ハ、甲ト、甲ト、丙  
 ト、丙ト、乙ト、乙ト、丁ト、丁トノ、間タニ、在テ、度量、形  
 質、共ニ、同シケレバ、屬位ニ、他シ、極ヲ、充テ、〇イロロ

此ニ、反言對ハ、  
 前唱 真ナク 後知 偽リ  
 後知 真ナク 前唱 偽リ

實反對式

甲〇一〇一〇  
甲〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
丙〇一〇一〇  
丙〇一〇一〇  
丁〇一〇一〇  
丁〇一〇一〇  
戊〇一〇一〇  
戊〇一〇一〇  
己〇一〇一〇  
己〇一〇一〇  
庚〇一〇一〇  
庚〇一〇一〇  
辛〇一〇一〇  
辛〇一〇一〇  
壬〇一〇一〇  
壬〇一〇一〇

實反對ハ度量形質  
同ジケレドモ、後和  
前唱ノ唱ノ属位ニ  
全ク異ル極ラシク  
也

義ニ喻ル者ハ君子  
義ニ喻ル者ハ小人也

致知啓蒙

卷二

七

〇ロテフニ、〇イロハテフニ同シク、譬へハ、義  
ニ喻ル者ハ君子ナリテフヲ、義ニ喻ル者ハ小人  
ナリト云フカ如シ、サルカラニ、コハ兩ツナカラ  
真トナルコトハ、ナシト雖、兩ナカラ、偽リナル  
コトアリ、前唱真トナラハ、後和偽リナリト雖、  
前唱偽リナリトテ、後和必ス真トトハ、言ヒ難シ、  
譬へハ、〇イロハテフニ、〇イロハテフニ、  
ホナト、數へ悉スヘクモアラテ、其内ニ、一ツノ真  
アレハナリ、故ニ兩ナカラ、偽リニ出ルコトアル  
ヘシ、小反對ハ、本来反對ト度量ノ違ヒニテ、コモ

小反對式

乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇

渡り形質  
コノ式ハ、一ツ真ニテ、二ツ偽  
ナルアリ  
又二ツモ、三ツ真ナルアリ  
或人ハ賢人也  
或人ハ賢人ニ非也  
如シ

差等式

甲〇一〇一〇  
甲〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
乙〇一〇一〇  
丙〇一〇一〇  
丙〇一〇一〇  
丁〇一〇一〇  
丁〇一〇一〇  
戊〇一〇一〇  
戊〇一〇一〇  
己〇一〇一〇  
己〇一〇一〇  
庚〇一〇一〇  
庚〇一〇一〇  
辛〇一〇一〇  
辛〇一〇一〇  
壬〇一〇一〇  
壬〇一〇一〇

亦度量同シク、形質異ナル者ニテ、乙ト丁トノ間  
タニ在リトス、コハ其一ツ真トニシテ、他シ偽リ  
ナルコトアルカ上、ニ、兩ナカラ、真トナルコトア  
リテ、兩ツナカラ、偽リナルトナシ、譬へハ、〇イロ  
ハテフニ、〇イロハテフニ、イノ属性ヲ鈎引シ、一  
ツハ、〇ノ類ニ入レ、一ツハ、〇ノ類ヨリ、省クコト  
ニテ、或人ハ賢人ナリ、或人ハ賢人ニ非ルナリナ  
トノ如ク、兩ツナカラ、真ナルコトヲ、得ヘケレハ  
ナリ、差等ハ甲ト乙ト、丙ト丁トノ間タニ在テ、全  
称ヲ差主。[Subalternant]トイヒ、特称[Subalternans]

文口女受

卷二

九

寸深

八

四ニテモ、中極ハ中極、合マレ中極ハ老極ニ合マル、一ナルレ然レハ、位地ハ上下ニ  
別レラザル、老極ハ中極ノ類名、中極ハ老極ノ類名ニテ、中極中極、對スルハ、  
中極老極、對スルハ、必ず合テルベキカ、但、  
中極ノ位置如何ニ拍ハスベシ、全〇属位ハ、  
中極ノ位置如何ニ拍ハスベシ、全〇属位ハ、  
中極ノ位置如何ニ拍ハスベシ、全〇属位ハ、  
中極ノ位置如何ニ拍ハスベシ、全〇属位ハ、

ト名ケ、形質同ウシテ、度量異ナル者ヲ、云フナ  
 リ、コハ全称、中ニ、特称ヲ兼ルコトハ、得ヘレト  
 雖、氏、特称ノ中ニ、全称ヲ含ムコトハ、得ヘカラサ  
 ルカ故ニ、差主ヨリ、差客ヘ移リテ、前唱真トナラ  
 ハ、後和モ真トナルヘシ、然レ、氏、差主ノ前唱、偽リ  
 ナリトテ、差客ノ後和、必ス偽リナリトハ、謂フヘ  
 カラスシテ、真ナルコトアリ、譬ヘ、ハ、人ハ皆聾啞  
 ナリハ、肯スヘカラストモ、或人ハ聾啞ナリト言  
 ハ、真トナルカ如シ、又差客ヨリ、差主ヘ移リテ  
 前唱真トナリトテ、後和必ス真トナリト、謂フ可

前唱 差主 真 或松者木也  
 後和 差客 偽 或令者能也  
 前唱 差主 真 或令者能也  
 後和 差客 偽 或松者木也

トハコト含  
 ハコト含  
 ハコト含  
 ハコト含  
 トハコト含  
 トハコト含  
 トハコト含

後和 差主 偽 松也  
 前唱 差客 真 或松者木也  
 但レ後ニ回ハ前唱  
 和ノオキ

及新式ハ一句真三句偽  
 差等式ハ演題ニ用ケルコトナリ

ラスシテ、偽リナルコトアリ、然レ、氏、差客ノ前唱、  
 為リナラ、和、必ス偽リナルヘシ、譬ヘ  
 真トナルコト著シサレト、甲モ乙モ、皆偽リニテ  
 〇松 〇草 〇松 〇草ト云ハ、自ラ係リ合フコト  
 ナシ、此理リハ、裏題ニテモ然ナリ、ナヘテ反對互  
 證ハ、兩題ノ相係ハル理リヲ、示シタル者ニテ、譬  
 ハ、乙ノ「〇鯨 〇魚」ヲ偽リトセハ、乙ノ「〇魚 〇鯨」  
 ル丙ノ「〇鯨 〇魚」ハ真ナリトシ、丙ノ「〇鯨 〇魚」ハ偽  
 ル甲ノ「〇鯨 〇魚」ハ偽リトス、又差客ノ乙ノ「〇山

前唱 差主 真 或松者木也  
 後和 差客 偽 松也  
 命題ヲエテ、ノ關係ヲ  
 差等式ニ見コトセバ、甲  
 ノ「〇山 〇魚」也、乙  
 ノ「〇山 〇魚」也、丙  
 ノ「〇山 〇魚」也、丁  
 ノ「〇山 〇魚」也

ト名ケ、形質同ウシテ、度量異ナル者ヲ、云フナ  
リ、コハ全称、中ニ、特称ヲ兼ルコトハ、得ヘレト  
雖、氏、特称ノ中ニ、全称ヲ含ムコトハ、得ヘカラサ  
ルカ故ニ、差主ヨリ、差客ヘ移リテ、前唱真トナラ  
ハ、後和モ真トナルヘシ、然レ、氏、差主ノ前唱、偽リ  
ナリトテ、差客ノ後和、必ス偽リナリトハ、謂フヘ  
カラスシテ、真ナルコトアリ、譬ヘ、人ハ皆聾啞  
ナリハ肯、スヘカラストモ、或人ハ聾啞ナリト言  
ハ、真トナルカ如シ、又差客ヨリ、差主ヘ移リテ  
前唱真トナリトテ、後和必ス真トナリト、謂フ可

前唱 差主 真 或松者木也  
差客 偽 或金者能也  
後和 真 或歌者角也  
前唱 差主 偽 或人者聾也  
差客 真 或金者能也  
後和 真 或歌者角也

トハ一子含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含  
トハトト含

後和 差主 偽 或松也  
差客 真 或松也  
前唱 差主 偽 或松也  
差客 真 或松也  
後和 差主 偽 或松也  
差客 真 或松也  
前唱 差主 偽 或松也  
差客 真 或松也

ラスシテ、偽リナルコトアリ、然レ、氏、差客ノ前唱、  
偽リナラハ、差主ノ後和、必ス偽リナルヘシ、譬ヘ  
ハ、今甲ヲ真トナリトセハ、其中ニ含ミタル乙モ、  
真トナルコト著シ、サレト、甲モ乙モ、皆偽リニテ、  
○松 || 草 || 草ト云ハ、自ラ係リ合フコト  
ナシ、此理リハ、裏題ニテモ然ナリ、ナヘテ反對互  
證ハ、両題ノ相係ハル理リヲ、示シタル者ニテ、譬  
ヘ、ハ、乙ノ「○鯨 || 魚」ヲ偽リトセハ、乙ノ「反言對ナ  
ル丙ノ「○鯨 || 魚」ハ真ナリトシ、丙ノ「本来反對ナ  
ル甲ノ「○鯨 || 魚」ハ偽リトス、又差客ノ乙ノ「○山

反口文 卷三 十 十 保 八

石ヲ真トナリトシタリ、差主ノ甲ノ「○山」  
 石ハ、必ス真トシ難ク、又乙ノ小反對ナル丁ノ「○  
 山」石モ、障ナケレ、丁ノ反言對ナル甲ノ「○山  
 石ハ、亦偽リニテ、而テ甲ノ實反對ナル甲ノ「○  
 山」土モ、必ス肯、ス可ラサルカ如ク、カク交互ニ  
 比較シテ、其關係ヲ審カニスルナリ  
 第十六章 轉換互證  
 轉換ノ法ハ、題ノ極ヲ主位ノ屬位ト、取り換フル  
 コトニテ、前唱ヲ、轉語「conversione」ト名ケ、換ヘラ  
 者トシ、後和ヲ、換語「conversione」ト名ケ、換

前唱 轉語 被換者  
 後和 換語 換者

單轉換

不定轉換

對偶轉換

スル者トス、其法ニツアリ、單轉換「conversione」  
 simple不定轉換「conversione per accidentem」  
 對偶轉換「conversione by contraposition」ナ  
 單轉換ハ、丙乙ノニツニ於テ、施スヘシコハ皆、  
 主位モ屬位モ、度量異ナルコト無ケレ、ハ其形質  
 ヲ易フルコトナク、置キ換スヘシ式ニテ、丙ノ「○  
 イ」○「ロ」ヲ、「○ロ」○「イ」トナシ、又乙ノ「○イ」○  
 「ロ」ヲ、換語ニ因テ、「○ロ」○「イ」トスルニテ、譬ヘハ、  
 窮スルスニ濫スル者ハ、君子ニ非ルナリ、ヲ、君子  
 ハ、窮スルスニ濫スル者ニ非ルナリトナシ、又「或

單轉換式

丙○イ○ロ前轉語

丙○ロ○イ後換語

窮スルスニ濫スル者ハ

君子ニ非ル也

君子ハ、窮スルスニ

濫スル者ニ非ル也

乙○イ○ロ前轉語

乙○ロ○イ後換語

或小道ハ觀ルベキ者也  
或觀ルベキ者ハ小道也

甲〇イリ〇ロ前轉語  
乙〇ロリ〇イ後換語  
丙〇イリ〇ロ前轉語  
丁〇ロリ〇イ後換語

不定轉換式  
動物ノ可ハ獸也  
動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ

甲〇イリ〇ロ前轉語  
乙〇ロリ〇イ後換語  
丙〇イリ〇ロ前轉語  
丁〇ロリ〇イ後換語

小道ハ觀ルヘキ者ナリヲ或觀ルヘキ者ハ小道ナリナトノ如シコハ亞甲ニテモ然ナリ不定轉換ハ轉語ヲ換フルカ上ニ其度量ヲモ全称ヨリ特称ニ換フルナリ唯形質ハ易フルコトナシ甲ハ單轉換ニ供フ可ラサル者ナリ故ニ不定轉換ニテ乙ニ換フヘシ式ニテ〇イリ〇ロヲ〇ロリ〇イトイロノ極ヲ換ヘ又主位ノ度量ヲ易フルニテ譬ヘハ凡テノ獸ハ動物ノ一ツナリテフヲ動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ丙ヲ丁ニ換ヘ〇イリ〇ロヲ〇ロリ〇イトスヘ

動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ  
動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ  
動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ如シ又此法ニテ

對偶轉換式

丁〇イリ〇ロ對偶  
乙〇ロリ〇イ對偶  
或人ハ賢ク非也  
或人ハ不賢也  
或人ハ賢也  
或人ハ不賢也

シ、サレト、丙ハ單轉換ニ供フヘキ者ナレハ此法ハ餘リニ用ヒ又格ナリ對偶轉換ハ對偶ノ法ト轉換ノ法ト相雜リテ重ナレル運用ナリ先轉語ニ倣ヒテ對偶ノ換語ヲ作り此換語ヲ置キ換フルナリ丁ハ主位特称ニテ屬位全称ナレハ上ノ二通りノ法ニ供フヘカラスサルヲ對偶法ニテ其否定ノ標シテ肯定トナセハ丁ノ對偶ナル乙ヲ得即チ〇イリ〇ロヲ〇ロリ〇イナラ又者トナレサテ此對偶ヲ倒サマニナシナハ〇ロナラ又者ハ〇イリ〇ロナル譬ヘハ久シク約ニ居ル能

書入ヲ見合ス

丙〇一〇〇  
 甲〇一〇〇  
 乙〇一〇〇

車下ニ演題ニカケテ当  
 百ヲ断ハルハ排ナドモ  
 上再ニテ学解不岐

ハサル者ハ仁者ニ非ルナリトシテ久シク約ニ居ル  
 能ハサル者ハ不仁者ナリトシテ之ヲ轉換法ニテ  
 不仁者ハ久シク約ニ居ル能ハサル者ナリトス  
 ルカ如シ、又丙モ右ノ如ク覆ヘスコトヲ得ヘシ  
 即チ丙ノ對偶ハ、甲ニテ、甲ヲ得タル上、之ヲ不定  
 轉換ニカケテ乙ヲ得ヘキナリ、其外此轉換ハ取  
 ラサル説ト、又亞甲亞乙マテ及ホス説ト、其テ  
 區々ナルヲ今ハ唯其梗概ヲノミ舉テ委シキコ  
 トハ原ソ文ニナク、讓リソルル

第十七章 演題四圖

上再ニテ学解不岐  
 外延内包ニ關シテ  
 演題ニテ、斷言ノ極  
 ハ常ニト云意ニテ  
 老約ハ總ノ意ナルベシ

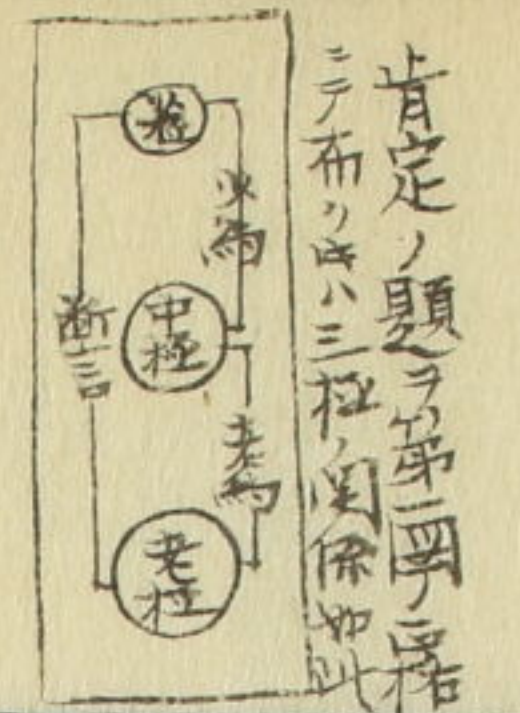
前ニ論ラヒシ引證ハ直チナルハ、互證ニテ、即チ  
 此前三種ノ法ヲ舉ツル者ナリ、其一ツハ、演題  
 ニテ、爰ニ論ラフ者ナリ、コトハ媒ヲ取リテ、引證  
 スル者ナレバ、其法モ種々アルカ中ニ、正格[*sales*]  
*positive*]ノ演題ハ、極三ツアリ、之ヲ老極[*major*  
*term*]中極[*middle term*]少極[*minor term*]ト名ク、  
 此三ツハ極一ツノ式ノ内ニ、再ニ頭ハル、今一ツ  
 ノ演題ヲ示ス

老 似テ非ナル者ハ 真ヲ賊スル者ナリ  
 少 郷愿ハ 似テ非ナル者ナリ

前唱

收和收蒙 卷二 十三 才保

少約ノ必極ハ九テノト云フ者ニテ断言ノ必極ハ或ルコト云フヘキ者ナリ  
 則チ必約ニテ九ツラエル某物ハ其ナリ  
 分ヤニ由テ此二ツノ某物モ其ナリ  
 一云フガ如シ



テ非ナル者テフヲ中極トシ、郷愿テフヲ少極トシ、老ト少トハ、互ニ、後和、主位ト、属位トナル者ナリ、是ヲ以テ、極端 [extremities] ノ名アリ、中ハ前唱ニノミ、頭ハル、極ニシテ、又主位トナリ、属位トナルナリ、コハ專ラ餘ニツノ極ヲ量ル、矩ノ如ク、題中ノ元極トシ、肯定ノ題ヲ、正格ノ如ク、布ク時ハ、佗レニツノ間タニ在テ、老極ノ内ニ、含マシ、少極ヲ已レニ、含ム者ナリ、サテ、此三ツノ極

ナリ、後和  
 不極トシ、似

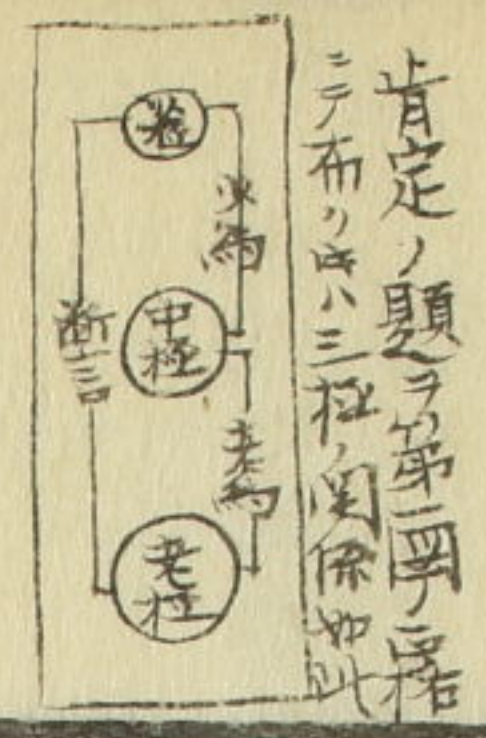
題トハナホ、向ト云ガ  
 下トシ

互トニ重ナリ、二ツツ、ト、ト、主属トナル故ニ、題ハ三ツナリ、此三ツノ題、又重ナレル内ニテ、上、ノ、二ツハ、前唱ニ當リ、引證ノ目的トナリ、下、ノ、一ツハ、後和ニ當リ、即チ上、ニツテ、引證シタルナリ、故ニ上、ニツノ題ヲ、兩約 [promises] ト名ケ、下、一ツノ題ヲ、断言 [conclusion] ト云フ、又上、ニツノ題、中、ニテ、老ト中ト頭ル、老約 [major promise] ト、中ト少ト少ナルヲ、少約 [minor promise] ト、云フ、故ニ、必大、三極相待テ、引證ニ供スヘキ、尋常ノ據證 [argument] ニテモ、異ナルコトナシ、譬

故口故、十四、村、録



此の如く  
三極の  
関係は



肯定ノ題ヲ第四極  
ニシテ布クハ三極ノ關係也

斷 故 郷愿ハ 真ヲ賊スル者 ナリ 後和  
右ノ演題ニテ、真ヲ賊スル者テフテ、老極トシ、似  
テ非ナル者テフテ、中極トシ、郷愿テフテ、以極ト  
ス、老ト少トハ、互ニニ、後和ノ主位ト、属位トナル  
者ナリ、是ヲ以テ、極端 [extremities] ノ名アリ、中ハ  
前唱ニシテ、頭ハル、極ニシテ、又主位トナリ、属  
位トナルナリ、コハ專ラ餘ニツノ極ヲ量ル 繁矩  
ノ如ク、題中ノ元極トシ、肯定ノ題ヲ、正格ノ如ク、  
布ク時ハ、佗レニツノ間タニ在テ、老極ノ内ニ、含  
マシ、以極ヲ已レニ、含ム者ナリ、サテ、此三ツノ極

題トハナホ  
ト云ケ

互トニ重ナリ、ニツツト、主属トナル故ニ、題ハ  
三ツナリ、此三ツノ題、互重ナレル内ニテ、上ノ二  
ツハ、前唱ニ當リ、引證ノ目的トナリ、下ノ一ツハ、  
後和ニ當リ、即チ上ニツテ、引證シタルナリ、故ニ  
上ニツノ題ヲ、約 [premises] ト名ケ、下ニツノ  
題ヲ、斷言 [conclusion] ト云フ、又上ニツノ題、中  
ニテ、老ト中ト頭ルヲ、老約 [major premise] ト  
トシ、中ト少トナルヲ、少約 [minor premise] ト  
云フ、故ニ、必ク、三極相待テ、引證ニ供スヘキハ、尋  
常ノ據證 [argument] ニテモ、異ナルコトナシ、譬

故口故蒙  
卷二  
十四  
村保



政三眞愛奇者也  
甲〇字眞リ口愛奇也

三錯綜レ此四圖ヲ試ミヨ  
ト云ハ唯老中火ノ三極ノ相  
関スルヲマテ試ミヨト云ル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
上ニテ何レモ一層ノ上ニテ  
アノニハアスルレハ層ノ上  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
二層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
三層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
四層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
五層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
六層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
七層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
八層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
九層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ  
十層ノ上ニテカク錯綜スル  
ニテカク錯綜スル四圖ノ

至矢居蒙

卷

七

ハ次ノ表ニテ知ルヘシ

| 断言 | 少約 | 老約 | 第一圖 | 第二圖 | 第三圖 | 第四圖 |
|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 少  | 少  | 中  | 中   | 中   | 中   | 中   |
| 少  | 中  | 老  | 老   | 老   | 老   | 老   |
| 老  | 老  | 中  | 中   | 中   | 中   | 中   |
| 老  | 中  | 少  | 少   | 少   | 少   | 少   |

右ハ皆中極ヲ目的ニ取りテ立タル者ナレハ其  
互ヒニ主位トナリ、属位トナリタル様ニ心シテ  
見ルヘシ、今楷梯ノ為ニ德テフ中極愛スヘキ者  
テフ老極並ニ正直テフ少極ヲ授クヘシ試ミニ  
錯綜シテ此四圖ヲ試ミヨサテ此四ツノ圖ニ各

甲式 乙式  
丙式 丁式

右ノ四ツヲ上ノ四ハ  
配當スルヲ示ス  
四ハ老中火三極ノ  
位地ヲ示スモノ也  
甲乙丙丁ノ如キモノ  
ハ全特皆否即  
度量形復ヲ示  
スモノ也

度量觀ト形質觀トヲ充テ上ノ甲乙丙丁ヲ配リ

演題ノ軌「軌」ト云フ者トスサレハ甲乙丙丁ヲ  
四ツノ圖ニ乗ケテ十六軌ヲ得又各四ヲ乗ケテ  
六十四軌ヲ得ルナリサレト此六十四軌ハ悉ク  
用ヒニ供フヘキ者ニハ非ルナリ

致知學家多クハ此第一圖ヲ演題人イト能協ヘ  
ル式トシテ之ヲ取リ以謂テク此式ニテハ中極  
其位ヲ得他シニ極ヲ結ビテ断言ニ断ハル者  
ナリトコハ老約ノ中極ハ老極ニ含マレ少約ノ

收口文

卷二

六

抄録

甲乙式ニテカク錯綜スル四圖ノ  
乙式ニテカク錯綜スル四圖ノ  
丙式ニテカク錯綜スル四圖ノ  
丁式ニテカク錯綜スル四圖ノ

此四圖ノ  
錯綜スル

スベテ演題ハミツノ種  
類ヲ以テ成テ五モ  
ガク摩ハハト動  
ト有極性トヲ合ヤ  
テ動物者性也  
人ハ動物也  
政人ハ有性也  
又黄年ト云フモ思  
トノニ類トヤ  
牛ハ毛物ガヤ  
猪年ハ牛年ヤ  
政黄年ハ毛物ガヤ  
又定ニテハハハ否  
定トスル題ヲ同  
ニハスレ  
獸ハ魚ニ非ス  
牛ハ獸ニ也  
政牛ハ魚ニ非ス

中極ハ、少極ヲ含ミタルヲ、謂フナリサレト然相  
係ハル様ハ、少約ヲ前トシ、老約ヲ次トシタル、第  
一圖ノ变化ニテ、其様尤モ明カナリ、ソハ○少極  
德ニ部カキ○中極ハ老極ニテ、少極ハ中極ニ  
テ、少極ハ中極ニ含マレ、中極ハ、老極ニ含マレ  
タリ、カレ、是ヲ以テ少極ハ老極ニ含マレタリテ  
フナリ、コハ裏題ニテモ、然ナリ、即○少極ハ中極  
○中極ハ老極ニテ、少極ハ中極ニ  
含マレタレト、中極ハ老極ニ含マレサルナリ、カ  
レ、是ヲ以テ少極ハ老極ニハ含マレサルナリ、テ

上行ヲ類  
下行ヲ種

類ノ字ヲ種ノ字ニ改  
メ行メノ一類ノ字  
ヲ種ニ改メレ西  
先生モ誤カレハレ  
ト云ハレキ

フナリ、爰ニイテ含ムトハ、第九章彙類ノ法ニテ  
是ハ其ノ類ナリ、其ハ彼ノ種ナリ、テ又云トニテ  
譬ヘハ、少極ハ中極ハ中ハ一種、中極ハ老極ハ中  
ノ一種ナレハ、少極ハ老極ノ中ノ一類ナリト謂  
フニ均シ、又第十二章ノ同一不同ノ考ヘニテ  
之ヲ言ハ、是ハ其ト同一、其ハ彼ト同一ナレハ  
彼ハ是ト同一ナリト定ムルコトナリ、是此媒ニ  
ニテ彼ノ物ヲ引證シタルニテ、上ノ例シハ此理  
リヲ示シタルナリ、又之ヲ理ニテ言ハ、此物ハ  
其物ト同一理ニテ、其物ハ彼物ト同一理タレ

歸納法ハ近未明ニ  
ナリタルモノニテ此  
書ハ之ヲ舊高千定  
則ヲ説キタルモノ  
ナレバ此書ニ説ケル  
ハ之ヲ演繹法ノ  
三ナリテ演繹法ノ  
見ニ  
歸納法ハ所  
見ニ

此物ハ彼物ト同一理ナリト謂ハカ如シナル  
ハ此理リニ因テ一ツノ單元ヲ立テ曰ク甲之與  
丙同一而乙之與丙同一則甲乙亦同一 [Things  
which are identical with the same thing  
are identical with each other] ト是首圖ニテ演繹  
ノ法ヲ運用スルノ定則 [rule] ナリ此單元ヲ開キ  
テ舊クヨリ皆有全無之辨 [Dilemma de omni et de  
nullo] ト云ヒニツノ定則ヲ立タリ其一ツハ外  
延ノ考ヘニテ種ト類トヲ宗トシテ演題ヲ考フ  
ル法ナリソハ可證諸類而定其有無可否者亦可

此證字關  
係也中下  
手見ルニ

是則下行ヲ中ニ上行  
ハ進ミテ下ニ行ノ種  
名ヲ上行ノ類名ハ之ヲ  
套捕レテテ也

上行ノ類トモニ下行  
種トモニヨレハ  
中極老極ハ上下  
ノ類例ナルベシ

○老極ヲ以テ中極ヲ含  
有セル名ト見中極ヲ以テ  
小極ヲ含育セル名ト見  
レハ即老極ハ小極中極  
ヲトモニ含有セル所ナ  
ナリ是外延ノ老極ニ  
ナリ

證諸種而定其有無可否也 [Whatever is (af-  
firmatively or negatively) predicated of  
a class, may be predicated in like manner (that  
affirmatively or negatively) of everything inclu-  
ded in the class] テフ定則ナリコハ老約ニテ中  
極ハ老極ノ類ナリトカニ非ストカニ命證ニ少約  
ニテ少極ハ中極ノ一種ナリト命證シタラハ斷  
言ニテ少極ハ老極ト同一ナリトカニアラスト  
カニ定證スヘントナリ爰ニテハ中極ト少極ト  
類ト種ト見老極ハ中少二極入共ニ有テル形質

改口改蒙

卷二

七

麻



其類ヲ総フル老極ハ猶総概ノ名ナルヘク故ニ  
持称ナリ三ツニハ老約ノ形質肯否ハ断言ノ形  
質ヲ定メ必約ノ度量全特ハ断言ノ度量ヲ極ム  
ルコトト知ルヘシコハ言ヲ待サルコトナレト  
モ心スヘキコトニナム

第十九章 演題通則

上ニ舉タル定則ハ第一圖ニ當ツル者ニシテ他  
レ三ツノ圖ニハ通ハスヘクモアラヌアル説ニ  
テハ他レ三圖モ第一圖ニ化シテ見ルヘシト云  
ク又或説ニテハ通則ヲ用ラヘシト云ヘリ此通

以下三ノ第一圖ハ  
中極ガ老約ニ極  
ノ媒介ヲスル者ニ  
非ズレキ第一圖ニ  
當ツル必不中極  
タルニキ者ガ老極  
トモナリナトスル  
ヲ九ニ申

第二圖以下三ノ老約  
必スレキ老極ガ  
中極ヲ合シ中極  
ガ老極ヲ合シトモ  
限ルニ非ズレキ時ニ  
ヨリテハ老極中  
極ニ合シ中極  
ノ二合ニ合マレ  
ナドモフニヤ下  
ノ二十四軌ヲ熟  
視スレハイカニモ  
サヤウニ覚ユ

則ノ元規トテ一ツハ肯定ニ係ハリ他レハ否定  
ニ係ハリテ立タル單元次ノ如ク曰<sup>肯定</sup>「<sup>老</sup>極之與  
第三極相合者亦互相合」<sup>此</sup>Two terms which agree  
with the same third term agree with each other  
又曰<sup>否定</sup>「<sup>中</sup>其<sup>老</sup>一合而其<sup>中</sup>一不合者莫<sup>老</sup>相合」<sup>此</sup>Two terms,  
whereof the one agrees and other disagrees  
with the same third term, disagree with  
each other」第三極トハ中極ヲ指シ二極トハ老約  
ナリコハトアル三極アル時ハ中極ヲ本トシ莫  
逆嘉納ノ法ニ因テ同一ナリトカ不同一ナリト

首圖定則ニ  
ハ甲乙丙  
同一ニシ  
丙則甲乙  
同ト云フ  
テ明ニ極ノ  
類ノ中極ノ  
類ノ中極ノ  
其又上ノ老  
極ノ中極ノ  
ナリト其合  
有スル者  
説タルヲ  
ハ三ツカ  
甲丙ト云ハ  
バ三極相  
第三極相  
者互ニ相  
ト云フ明  
首圖ノ如ク  
中極中極  
合ニシテ  
中極老極

上卷ノ外延内包ニ  
云レ或獸ノ牛也  
ト云テモテモ其如  
ク即コレハ  
〇年ノ獸也ト  
云ハ年ハ〇獸中  
ニテト云フナリ  
コレヲカヘレテ  
ハノ獸ハ〇年也  
ト云フ也コレモ  
糊ト也

コノ**特稱**ノ題ハ**全称**ノ題ノ内ニ含マルレド**全称**ノ題ハ**特稱**ノ題ノ内ニ含マルレド  
一ナキヲ心スベシト云ヘルハ**減**ニ辨シカタキヤウナリ思フニコノ題ノ字ハ極ノ字ノ  
誤リニ非ザルカ若シ誤リナラバコレハ**全称**ノ**特稱**ノ内ニ含マルレド  
**特稱**ノ**全称**ノ内ニ含マル、一ナキヲ心スベシト云ヘルハ**減**ニ辨シカタキヤウナリ思フニコノ題ノ字ハ極ノ字ノ  
定ノ題ニテハ**全**ハ**下**行ノ**種名**ニテ**特**ハ**上**行ノ**類名**ナレバ**全**ハ必ズ**特**ノ内ニ含  
マルレド一ナキヲ心スベシト云ヘルハ**減**ニ辨シカタキヤウナリ思フニコノ題ノ字ハ極ノ字ノ  
上行ノ**類名**ナレバ**全**ノ**下**行ノ**種名**ノ内ニ含マルレド勿論ノナリ  
ノ如シ又**特**ト**特**ナレバ**全**ノ**下**行ノ**種名**ナリ  
ノ如シ又**特**ト見レバ**下**行ノ**種名**ナリ即**下**行ノ**牛**ト云モノハ又其中ノ一部分  
ノ**或**ト云フナリ故ニ含マル、一ナキヲ得ルナリ又**全**ト**全**トハ決レテ含マル、  
一ナシコレ同行ト同行トナレバナリ

**獸ハ** || **鳥** ノ如シ

或又コノ文ノマ、ニシテ解セバ下ニ未ヲ以テ書入レタル如ク**前題**ノ**属位**ノ  
度量ト後題ノ**主位**ノ度量ト見較フルトナラシ證言ハ  
**心直** || **徳** 一部  
**徳** || **愛奇** 者ニ部ナ **老約** 此ノ如ク又**約**ノ**主位**ノ**全**ハ其**属位**ノ**特**ニ含マルレバ  
ハ次ノ**老約**ノ**主位**ナル**徳**ト云フ極ノ内ニ含マル、モノトスベキカ

在示スルナリ



第三圖ハ五徳ヲ本トシテ主

ク心スベト云ヘルハ必老断トスル

ニ因テ老約ノ中極特存力

コノ因ケレ

老約

少約

断言

第二圖

老可愛者 中徳

少道 中徳

少道 老可愛者

第三圖

中徳 老可愛者

中徳 少道

少道 老可愛者

第四圖

老可愛者 中徳

中徳 少道

少道 老可愛者

辨ズルニ爰ノ特稱ノ題ハ全称ノ題ノ内ニ含マルレド全称ノ題ハ特稱ノ題ノ内ニ含マル、トナキヲ能ク心スベト云ヘルハ必老断トスル因ニツイテ云タルナクモレコノ老少断トスル因ニツイテ云タルナクハ第一ニ因ニテ老約ノ主位ハ全称又約ノ主位ハ特稱ナラバ其律ニ背クモノトナルベシ全ク以老断トスル因ニツイテ云タルナラバ徳〇正直也又約〇徳〇愛すべき者也老約故ニ〇正直ハ〇愛すべき者也因言此ノ如クナリテ特ハ全ノ内ニ含マル、トナレバ差支ナカレシ前ノ差支等式ノ中ノ或人ハ啞也ハ總人ハ啞也ノ中ニ含マルヲ見合スレ又特ハ下行ノ一カヲ上行ニ含マサルト云論ナレ全ヲ全ハ云フマデモナレ

啓人ト云

啓人ト云フ語相對スル物ナリレテ人ト云ケテニハ全稱ナリ又動物ト云フ語コレモ動物ト云フ  
 ニ付テ云ハ全稱ナリサテコノ人ト動物ノニ語ヲ相對セシムルトキハ人ト云フ語タトヒ總テノ人ト云フ意  
 ニセヨ動物ト云フ語ヨリ見レバ其一部ヲ特稱ナル一勿論ナリ動物ト云フ語モ又機性跡ト多  
 語ニ對スルキハ特稱トシテ一勿論ナリコト由テ見ルコトノ特稱ノ題ハ全稱ノ題ノ内ニ云々ト云ハ  
 ナホ下行ノ題ハ上行ノ題ノ内ニ含マルレド上行ノ題ハ下行ノ題ノ内ニ含マルハトナキコトスメント  
 云ハガ如クニテ命題ノ上ニテ用志全特ノ印ハ拍ハテガ如ク但シテ多クハ松ナリナドノ如キモ  
 矢張未ト云フ語ノ度量減ジテ松ト云フ語ノ下行トナリタレナリナホコト事下ノ隔然閑端ノ隔然言  
 著トモ見合スレ

相對動物ナリ

|    |    |     |
|----|----|-----|
| 少極 | 老極 | 第二回 |
| 中極 | 中極 |     |
| 中極 | 中極 | 第三回 |
| 少極 | 老極 |     |
| 中極 | 老極 | 第四回 |
| 少極 | 中極 |     |

前唱ノ属位全ニテ後  
和ノ主ナリ合マ  
テ後知ノ主位  
持テ合マレ

「元ハ肯定ニシテ  
特称ハ全称ニ合  
合称ハ特称ニ合  
合

此ハ和ノ主ナリ  
度量全ニテ後和  
ノ主位ノ属位持  
テ合マレ

カ、相量リテ、表裏二題ノ内ニ、定ムルニシトナリ、即  
チ甲<sup>火</sup>之與丙<sup>中</sup>同一、而乙<sup>老</sup>之與丙<sup>中</sup>同一、則甲<sup>火</sup>乙<sup>老</sup>亦同一、  
テラ單元ヲ説キタルナリ、唯此二則ヲ用フルニハ、  
先度量ノ標シテ、審カニレ、特<sup>火</sup>称<sup>火</sup>ノ題<sup>火</sup>ハ、全<sup>火</sup>称<sup>火</sup>ノ題<sup>火</sup>、  
内ニ、合マルレト、全<sup>火</sup>称<sup>火</sup>ノ題<sup>火</sup>ハ、特<sup>火</sup>称<sup>火</sup>ノ題<sup>火</sup>ノ内ニ、  
合マル、コトナキヲ、能<sup>火</sup>心<sup>火</sup>スヘシサテ、此二ツノ  
單元ニ就テ、六ツノ條則ヨ立タリ、是演題ノ通則  
ニシテ、此六ツニ、外ル、時ハ、偽題「fallacy」タリ  
十知ルヘシ、一ツニハ、演題ハ、三極ヲ常トシ、多カ  
ル可ラス、ハナカル可ラス、唯少ナキコトハ、絶<sup>火</sup>テ

テ却テ中極  
老極ヲ合  
トナルヲ  
義タルナリ  
作者ノ苦心  
見ルヘシ

第一ヲ犯スハ演題  
ニシテ形ヲ誤ルモ

無ニト雖氏、時トシテ一ツ言ノ種々ニ心ヲ持ツ  
コトアリテ全<sup>火</sup>特<sup>火</sup>ノ統紛ラハレク、三ツノ極四ツ  
トナルコトアリ、譬<sup>火</sup>ヘハ、恭<sup>火</sup>近<sup>火</sup>於<sup>火</sup>禮<sup>火</sup>遠<sup>火</sup>取<sup>火</sup>辱<sup>火</sup>ス、題ト

ノ徳ト云フ  
極ノ全特  
ニテ誠ニル

恭ノ礼ニ近キ者ト云ハ恭ト云者ハ大イナル者ニテ其ノ動テ活クハ仁ニ近キ者トモナリ、義ニ近キ  
者トモナリ、智ニ近キ者トモナリ、礼ニ近キ者トモナリ、然レハ恭ト云モノ主ニシテ礼ニ近キト云ハ其  
中ノ一ツノ活キヲ指テ云フナリコレヲ礼ニ近キ恭ト云バ己ニ活キタル上ニツイテ云フ云語ニ  
テ恭ト云フ大イナル者ガ一部ノ礼ニ近キト云者ガ其ノ身軀ヲ離レテ外ニ活解スル時ノ  
名目トナルナリ  
又、ノ君子ノ恭ハ恭ノ礼ニ近キ者ト云フエガタレ恭ト云者ハ人ノ行ノ一ツニシテ君子ノ  
恭ニテモ小人ノ恭ニテモ恭ノ大カハ皆同シカルベキナリ而シテ恭ノ礼ニ近キト云ハ恭ノ  
一ノ働キナリカクテハ君子ハタテ恭ノ礼ニ近キヤウナルトモ行ヒテ他ノ行ヒ  
恭ノ仁ニ近キ義ニ近キ智ニ近キト云ハ君子ニハナキトモナルナリ如何  
恭ハ人ノ一ツノ行ヒナレバ君子ノ恭ト云ハ恭ト云モノ同シキカレシ恭ハ恭ノ礼ニ近キ者也  
ト云テハエガタレ恭ト云ハ即<sup>火</sup>行<sup>火</sup>ノ類ニテ恭ノ礼ニ近キト云ハ恭中ノ一ツニコレヲ  
恭ニ較デレ下<sup>火</sup>行<sup>火</sup>ノ種ナリ故ニ君子ノ修養ハ恭ノ礼ニ近キ者ト云ハ合<sup>火</sup>格<sup>火</sup>ナリ  
妙<sup>火</sup>

恭ノ礼ニ近キ者ト云ハ恭ト云者ハ大イナル者ニテ其ノ動テ活クハ仁ニ近キ者トモナリ、義ニ近キ者トモナリ、智ニ近キ者トモナリ、礼ニ近キ者トモナリ、然レハ恭ト云モノ主ニシテ礼ニ近キト云ハ其

前唱ノ属位全ニテ後  
和ノ主ノ唱ノ合マ  
持テ後和ノ主位  
持テ合マ

「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」

度量全ニテ後和  
ノ主位ノ属位  
ノ主位ノ属位  
ノ主位ノ属位

カ、相量リテ、表裏二題ノ内ニ、定ムルニシトナリ、即  
チ甲之與丙同一、而乙之與丙同一、則甲乙亦同一、  
テラ單元ヲ説キタルナリ、唯此二則ヲ用ルニハ、  
先、度量ノ標シテ、審カニシ、  
ノ内ニ、含マルレト、全、  
單元ニ就テ、六ツノ條則ヨ立タリ、是演題ノ通則  
ニシテ、此六ツニ、外ル、時ハ、偽題「fallacy」タリ  
ト知ルヘシ、  
可ラス、ハナカル可ラス、唯少ナキコトハ、絶  
然アラト思フエハ下ノ「章」ニ「四軌」ノ表ノ中「第四圖」

テ和テ中極  
老極ヲ合  
持テ後和ノ主位  
持テ合マ

「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」

度量全ニテ後和  
ノ主位ノ属位  
ノ主位ノ属位  
ノ主位ノ属位

第一「犯」スハ演題  
ニシテ形ヲ誤ル  
ニシテ形ヲ誤ル  
ニシテ形ヲ誤ル

又其殊別ノ則ニ曰ク此  
圖ニハ約ノ中一ツハ丈六  
否定ナルベシ然レテ中  
極約ニテ再ニ持テ合  
五中極不法トナル  
々且ニ「四軌」ノ中ノ第  
ニ「四」ノ三ニ否定ニ式  
ノ三ヲ考テテコレニ適  
式ナレバイカン

無ニト雖氏時トニテ一ツ言ノ種々ニ心ヲ持ツ  
コトアリテ全特ノ統紛ラハシク、三ツノ極四ツ  
トナルコトアリ譬ヘハ恭近於禮、遠恥辱、又題ト  
シ、第二圖ニテ恭ノ禮ニ近キ者ハ、恥辱ニ遠カル  
者ナリ、君子ノ禮ハ、恥辱ニ遠カル者ナリ、カレ君  
子ノ禮ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリト云フ如ク禮ノ  
字ヲ攬ミテ、極ヲ四ツニシタルナリ、今本題ヲ正  
シ同シク第二圖ニテ、恥辱ニ遠カル者ハ、恭ノ禮  
ニ近キ者ナリ、君子ノ恭ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリ  
カレ君子ノ恭ハ、耻辱ニ遠カル者ナリト云ハ、

ノ徳トシテ  
凡ノ全特  
ニテ誠ニハ

「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」  
「元」指定ニ「三」

亦同  
ハ絶  
ニソ  
通則  
ノ内  
稱ノ題

テ却テ中極  
老極ヲ含ム  
テトナルヲ  
義ナルナラン  
作者ノ苦心  
見ルベシ

○古直ハ四徳  
○徳ハ一愛  
○徳ハ一愛  
○徳ハ一愛  
○徳ハ一愛

ノ徳下ニ  
極ノ全特  
ニテ識ミルベシ

ヲ持ツ  
極四ツ  
又題ト  
速ナル  
カレ君  
夕禮ノ  
題ヲ正  
恭中  
者ナリ

恥辱ニ遠キハ  
コニトモ持ト  
ス六中極持ト  
トナル  
モレテノ全  
トスレバ老極  
不法トナル  
事ニテ

恥辱ニ遠キ者ハ 屬直 謹慎 勇気 誠介 ナドオクテモアル中ニテ 恭ノ礼ニ近キモ  
恥辱ニ遠キ者名ト見ル 老約ノ 恥辱ニ遠キ者ハ 恭ノ礼ニ近キ者也 八恥辱ニ  
遠キ者ハ 己ミテ 其中ノ 一ハ 恭ノ礼ニ近キト云フモノヤト云フニアル也 老極特  
ニテ 中極全トナル

第二第三ヲ相ス  
ハ度量ヲ誤ル者

中極ニ約ミテ兩ツカ  
ラ全極ナル第圖  
ノ下ニ甲甲乙ト云  
フ

合格ナルヘシコハ心スヘキコトナリカシニツ  
ニハ中極ハ二約ノ内ニテ其一ハ必ス全稱ナル  
ヘシ中極ハ二極ヲ較フル者ナレハモシ再ヒ特  
稱ニテ顯レタラハ斷言ニテ支障アルコト言フ  
待タス譬ヘハ第三圖ニテ或小人ハ邦家ヲ乱ル

老極約ミテ特ニテ斷ニテ特

第三圖 甲甲乙 乙甲乙 甲乙乙  
第四圖 乙甲乙 乙甲乙

少極特特

第三圖 甲甲乙 乙甲乙 甲乙乙  
第四圖 甲甲乙 乙甲乙

又老少極トモ約ト斷言ニテ全全トナルナレ

但シ第三圖  
四圖ニ付云

ニハ老少ノ二極

又第二回ハ非定ガ  
重ユ別ナリ

又約ミテ全ニテ斷ニテ特トナルナレモナレ  
肯定トナル時ハ二類

ニハ極不法ノ偽題ト

第四第五の第  
九の形質ヲ誤  
ル者

一恐二誤

云フ譬ヘハ第四圖ニテ不層ノ教誨ハ教誨ナリ  
教誨ハ善ニ導ク者ナリカレ善ニ導ク者ハ不層  
ノ教誨ナリト云ハ老極不法ノ偽題ト云又第  
四圖ニテ宴饗ハ歡ヲ合スル者ナリ歡ヲ合スル  
者ハ禮ナリカレ禮ハ宴饗ナリト云ハ少極不  
法ノ偽題トナルナレ四ツニハ兩約トモ肯定ナ  
ル時ハ斷言必ス肯定ナルヘシ然ラザレハ第一  
ノ單元ニ戻ルナリ五ツニハ兩約ノ内何レカ否  
定ナラハ斷言ハ否定ナルヲ必ストス然ラザレ  
ハ第一ノ單元ニ戻ルナリ六ツニハ兩約共ニ否

此圖ハ又  
老約ノ中  
ニハ極不  
法ノ偽題  
ト云フ

第二第三ヲ相ス  
ハ度量ヲ誤ル者

中極ニ約シテ兩ツカ  
ラ全稱ナル第三圖  
ノ下ニ甲甲乙ト云々  
アリ

此ノ改定ニ  
合カズ如何  
ニテ約ノ中極○ノ下ニ  
三或トナリタルニ  
論トシテ考メタル也

第四第五の第  
九の形質ヲ誤  
ル者

一恐ニ誤

至矢居蒙

卷二

廿

論

合格ナルヘシコハ心スヘキコトナリカシニツ  
ニハ中極ハ二約ノ内ニテ其一ハ必ス全稱ナル  
ヘシ中極ハ二極ヲ較フル者ナレバモシ再ヒ特  
稱ニテ頭レタラハ断言ニテ支障アルコト言ヲ  
待タス譬ヘハ第三圖ニテ或小人ハ邦家ヲ乱ル  
者ナリ或小人ハ刑罰ヲ畏ル者ナリカレ邦家  
ヲ乱ル者ハ刑罰ヲ畏ル者ナリナトノ如シ之  
ヲ中極特稱ノ偽題ト云フ三ツニハ老少ノ二極  
約ニテ特稱ニテ断言ニテ全稱トナル時ハ二類  
トナルナリ之ヲ老極不法又少極不法ノ偽題ト

此ノ改定ニ  
合カズ如何  
ニテ約ノ中極○ノ下ニ  
三或トナリタルニ  
論トシテ考メタル也

云フ譬ヘハ第四圖ニテ不層ノ教誨ハ教誨ナリ  
教誨ハ善ニ導ク者ナリカレ善ニ導ク者ハ不層  
ノ教誨ナリト云ハハ老極不法ノ偽題ト云又第  
四圖ニテ宴饗ハ歡ヲ合スル者ナリ歡ヲ合スル  
者ハ禮ナリカレ禮ハ宴饗ナリト云ハハ少極不  
法ノ偽題トナルナリ四ツニハ兩約トモ肯定ナ  
ル時ハ断言必ス肯定ナルヘシ然ラザレハ第一  
ノ單元ニ戻ルナリ五ツニハ兩約ノ内何レカ否  
定ナラハ断言ハ否定ナルヲ必ストス然ラザレ  
ハ第一ノ單元ニ戻ルナリ六ツニハ兩約共ニ否

致口致蒙

卷二

二二

廿

論



定ナレハ、斷言ヲ下スニ、由ナレバ、此内ニテ第一條  
ヲ犯スハ、演題ノ正シキ形ヲ誤ルナリ、第二三條  
ヲ犯スハ、度量ヲ誤ルナリ、第四五六條ヲ犯スハ、  
形質ヲ誤ルナリ、中ニモ中極特稱ト、老少不法ノ  
偽題得テ有、勝ナリトス、學者能ハ心スヘシ

第二十章 二十四軌

止ニ云ヒシ六十四軌ヲ、右ノ六則ニカケテ試ム  
レハ、圖コソ如何ニモアレ其内五十三軌ハ、必ス  
斷言ニテ、イト醜クシコハ、一ツモ、第一則ヲ犯セ  
ルニハ、アラサントモ、度量形質、二類ノ則ヲ

犯セル者トス、故ニ此五十三ヲ六十四ノ内ヨリ  
除キ、殘レル十一軌ヲ得、コハ、常ニ用ヒテ供テヘ  
カリ、此十一軌ノ内、四ツハ肯定ノ斷言ニテ、甲甲  
甲、甲甲乙、甲乙乙、乙甲乙ナリ、七ツハ否定ノ斷言  
ニテ、甲丙丙、甲丙丁、甲丁丁、丙甲丙、丙甲丁、丙乙丁  
丁甲丁ナリ、サルニ此十一軌、悉ク四圖ニ充ソヘ  
キ者ニアラサレバ、其充ツヘキ者ヲ撰ビテ、各六  
ツツニ配リ、二十四軌ヲ得ルコト、左ノ如シ

第一圖

老中斷



甲 教訓ハ善ニ導ク者ノ一ツヤ  
乙 便伊ナク者ハ教訓ニ非ズ  
丙 便伊ナク者ハ教訓ニ非ズ

或申シクモ生シク  
者ハ一ツヤナリ  
申シクモ生シク  
者ハ一ツヤナリ  
或申シクモ生シク  
者ハ一ツヤナリ

至知啓蒙

卷二

廿

第二圖  
老中火老

第三圖  
老中火老

第四圖  
老中火老

右ノ内、欄内ナル五軌、全称ノ断言ヲ受ケヘキ  
所ニ持称ヲ受ケタレハ、用ヒニ供ヘ難ト人遺  
テ四圖ノ内ナル十九軌ハ、上ノ六條則ニ照ラ  
シ、違フコトナキヲ以テ皆用フヘキ者ナレト猶



第四三定則  
少約ハ必ず肯定ナ  
老約ノ主位ハ必ず全  
称ナルベシ  
老約ノ肯否ハ断  
言ノ肯否ヲ定メ  
少約ノ全称ハ断  
言ノ全称ヲ定メ  
但シ少約ノ主位ハ  
少約ノ主位ノ全称  
ナリ断言ノコレ  
ニ依ル

カシコ爰ニ、以レソレ條則ニ入ルコトアリ、コハ  
皆上ノ通則ヨリ、推擴メタシ者ナリ、少約ハ  
第一圖ニテ、此圖ノ三ツ、殊別ナル條則ハ、前  
ニ云ヒレ如クナリト雖、且又、通則ニモ照スヘ  
キナリ、ソハ、一ツニハ、少約ハ、必ず肯定ナルヘシ、  
モシ之ヲ否定トシ、其第六則ニ從ヒ、老約ハ、肯  
定トナリ、其第七則ニ從ヒ、其第七則ニ從ヒ、  
又第五則ニ從ヒ、断言ハ否定トナリ、其第八則ニ從ヒ、  
位タル老極ハ、全称トナラン、其第九則ニ從ヒ、  
老約不法ノ偽題ニ陥ルコト、二ツニハ、老約ハ必

改口改錄

卷三

二十四

廿

通則第一  
則ヨリ老火  
二種約ニテ  
特稱ヲ断言  
ナルベシ  
老約ハ、肯  
否ヲ定メ、  
少約ハ、全  
称ヲ定メ、  
但シ少約ノ  
主位ハ、少  
約ノ主位ノ  
全称ナリ、  
断言ノコレ  
ニ依ル

植物  
火約ハ、  
レズバ、  
フニ  
老約ハ、  
レズバ、  
フニ

王稱ハ斷言ヲ受クヘキ  
用ヒニ供ヘ難トス遺  
軌ハ上ノ六條則ニ照ラ  
自用フヘキ者ナレト猶

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 丙 | 甲 | 丙 | 乙 | 丙 | 丙 | 丙 |
| 甲 | 丙 | 乙 | 甲 | 丙 | 丙 | 甲 |
| 丙 | 丙 | 丁 | 乙 | 丁 | 丁 | 丁 |

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 丙 | 甲 | 丁 | 甲 | 甲 | 甲 | 甲 |
| 乙 | 丙 | 甲 | 乙 | 丁 | 丙 | 丙 |
| 丁 | 丙 | 丁 | 乙 | 丁 | 丙 | 丙 |

則ハ入ルコトアリコハ  
夕連者ナリハ  
殊別ナル條則ハ前  
且又通則ニモ照スヘ  
約ハ必ズ肯定ナルヘレ  
第六則ニ從ク老約ハ肯  
老極ハ特稱ナラシム  
肯定ナラシム其屬  
是第三則ヲ破リテ  
二ノ二ハ老約ハ必

通則第六  
則百ノ老火  
特稱ナラシム  
約ハ三ノ類ト  
老極ハ三ノ類ト  
極不任ノ例ト  
題下云云  
ハ三ノ類ト  
ハ三ノ類ト  
肯定ナラシム  
其屬  
是第三則ヲ破リテ  
二ノ二ハ老約ハ必

鶴ハ鳥也  
鳩ハ植物ニ非ズ故ニ或植物ハ鶴ニ非ズ  
可愛者善良者也 善良者非盜賊ハ或盜賊非可愛者

植物ハ鳥ニ非ス鳥ハ動物ナリ故ニ或動物ハ植物ニ非ス  
又約肯定ニテ其屬位ヲ斷言ニテ夫ハ全稱ニテ現  
レズハナラカニ特稱ニテ現ルハハアニスナリ故ニ此ニ欄ヲ加  
フベシ

又約肯定ニテ其屬位ヲ斷言ニテ夫ハ全稱ニテ現  
レズハナラカニ特稱ニテ現ルハハアニスナリ故ニ此ニ欄ヲ加  
フベシ

老約 中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約

善導者 教訓也

便只 善導者 教訓也

故 便只 教訓也

老約 中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約

老約 中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約

火極不法

大全称ナルハ、モシ其主ノ中極ヲ特称トナシ  
タラハ、今云ヘル通則ニテ、少約ハ肯定ナルハ、  
位ノ中極ハ、特称トナシ、是第二則  
中極持称ノ偽題トナルハ、三ツニハ、  
算ト、少約ノ度量トハ、断言ヲ極ムルコ  
ト前ニ云ヒシ如シ、故ニモシ老約否定ニテ、断言  
肯定ナラハ、第五則ヲ犯スナリ、モシ老約肯定ニ  
テ、断言否定ナラハ、第四則ヲ犯スナリ、又少極ハ、  
此圖ニテ、少約ト断言トノ主位ナルニ、前ニ特称  
ニテ、後ニ全称ナラハ、少極不法ノ則ヲ犯スヘシ

其属位  
老約 中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約  
以中極 特約

第二四

或愛奇善ハ、徳也

正真ハ、徳也

或正真ハ、愛奇善也

カクハ、キエトカガ  
カクハ、キエトカガ  
カクハ、キエトカガ  
カクハ、キエトカガ

獸ハ動物也

牛ハ獸ナリ

故ニ牛ハ動物ナリ

唯少約ニテ、全称ナラハ、是ニ継ク断言ハ、少極  
差等ニテ、特称タルヲ得ヘシ  
第二圖ニテ、此圖ノ殊別ノ則ハ、三ツアリ、一ツ  
ニハ、約ノ内ニテ、ハ否定ナルハ、一ツモシ、  
一ツ肯定ナル時ハ、中極兩約ノ属位ニテ、再ヒ特称  
トナルハ、一ツニテ、ハ断言ハ、否定ナルハ、一ツ約ノ  
内ニテ、否定ナルハ、第五則ニ從ヒ、サナクテ、ハ、得  
ルハ、全称ナルハ、一ツ断言否定  
ナレハ、其本タル極約ニテ

故ニ牛ハ動物ナリ

卷二

二十五

廿

老約ノ特稱ニテ  
 ○人ハ○牛ニ非ス  
 ○人ハ○獸ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス

老約ノ特稱ニテ  
 ○人ハ○牛ニ非ス  
 ○人ハ○獸ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス

不全稱ナルハ、モシ其主ノ中極ヲ特稱トナシ  
 タラハ、今云ヘル通則ニテ、少約ハ肯定ナルハ、  
 シテ、其属位ノ中極ハ、特稱トナルハ、是第二則  
 ヲ犯シテ、中極特稱ノ偽題トナルヘシ、三ツニハ、  
 老約ノ形質ト、少約ノ度量トハ、断言ヲ極ムルコ  
 ト前ニ云ヒシ如シ、故ニモシ老約否定ニテ、断言  
 肯定ナラハ、第五則ヲ犯スナリ、モシ老約肯定ニ  
 テ、断言否定ナラハ、第四則ヲ犯スナリ、又少極ハ、  
 此圖ニテ、少約ト断言トノ主位ナルニ、前ニ特稱  
 ニテ、後ニ全称ナラハ、少極不法ハ、則ヲ犯スヘシ、

其属位ニテ  
 ○人ハ○牛ニ非ス  
 ○人ハ○獸ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス  
 ○人ハ○人ニ非ス

第二四

或愛奇者ハ、德也  
 ○正真、德也  
 ○正真、愛奇也  
 ○正真、愛奇也  
 ○正真、愛奇也

唯少約ニテ、全称ナラハ、是ニ継ク断言ハ、少極  
 差等ニテ、特稱タルヲ得ヘシ、  
 第二圖ニテ、此圖ノ殊列ハ、則ハ三ツア、一ツ  
 ニハ、約ノ内一ツハ、否定ナルヘシ、モシ兩極  
 ヲ肯定ナル時ハ、中極兩約ノ属位ニテ、再ヒ特稱  
 トナルヘシ、ニツニハ、断言ハ、否定ナルヘシ、約ハ  
 内一ツ、否定ナルヘシ、第五則ニ從ヒ、サナクテハ、得  
 アラシ、三ツニハ、老約ハ、全称ナルヘシ、断言否定  
 ニテ、其属位ノ極全称ナレハ、其本タル極約ニテ  
 ハ、全称タルヘキナリ、

第三圖ニテ、此圖ノ殊別ノ則ハ、ニツアリ一ツ  
 ニハ、少約ハ肯定ナルヘシ、モシ否定ナル時ハ、第  
 六則ニ因テ老約肯定トナリ、其属位ノ老極ハ、全  
 称タルヲ得サルヘシサレ、第五則ニテ断言ハ  
 必ス否定トナレハ、其老極ハ全称トナリテ  
 老極不法ヲ犯スヘシ、ニツニハ断言ハ必ス特称  
 ナルヘシ、第五則ノ如ク、少約ハ肯定ニテ、其属位  
 ノ少極特称トナレハ、断言ニテ少極全称トナラハ、少  
 極不法ヲ犯スニ至ルヘシ  
 第四圖ニテ、此圖ハ、容易カラヌ圖ニテ、之カ為

ニ、殊別ノ則ヲ立テスレテハ、至ラヌ節ヲ多カル、次  
 ノ三ツハ、用ヒ來レル内ニテ、イト廣キ者ナリ、一  
 ツニハ、モシ老約肯定ナル時ハ、少約ハ、全称ナル  
 ヘシ、中極ハ、老約ノ属位ニテ、此約肯定ナル時ハ、  
 特称ナリ、サルヲ、モシ少約特称ナル時ハ、中極ハ  
 其主位ナレハ、再ヒ特称トナルヘシ故ニ中極特  
 称ノ誤リヲ防クヘキナリ、ニツニハ、少約否定ナ  
 ル時ハ、老約必ス全称ナルヘキナリ、モシ老約特  
 称ナラハ、主位ノ老極特称タルヘシ、サレバ、第五  
 則ノ通りニテ、断言ハ、否定ナルヘク、而テ其ノ老

極ハ、全稱ナルヘケレハ、老極不法ヲ犯スコトト  
 ナルナリ、三ツニハ、少約肯定ナル時ハ、斷言ハ、特  
 稱ナルヘシ、少極少約ノ属位トシテ、特稱タレハ、  
 斷言ニテ、全稱タルコトヲ得ヘカラス、是少極不  
 法ノ罪ヲ防クナリ、  
 第二十一章 化形還元  
 上ニ舉タル條則ハ、サルコトナレバ、アル致知學  
 家ハ、第一圖ヲノミ取りテ、之ヲ正圖トシ、他ニ三  
 ツハ、其変格ト見テ、之ヲ第一圖ノ演題ニ直シテ  
 用フル者アリ、カク直スヲ「還元」[reduction]トハ

第三圖

轉換

老火斷

老中火中火老

第四圖

轉換

老少斷

老中少少老

第五圖

轉換

老少斷

老中中火少老

云フナリ、其法重ニ一約カ、若クハ、兩約ヲ轉換ノ  
 法ニテ、直スコトニテ、第二圖ハ中極元ヨリ少約  
 ニテ、正シキ位ニ在レハ、老約ノ轉換ニテ、事濟ム  
 ヘシ、第三圖ハ少約、第四圖ハ、兩約ノ轉換ニカク  
 ヘシ、サルニ、カク轉換ニカケタラハ、其演題、原ノ  
 圖ニテハ、イト良キモノ、第一圖ニ、移シテハ、サ  
 ナキコト間々アリ、ソハ、第二圖ニテ、甲丙丙ハ、イ  
 ト良キ題ナリ、移シテハ、老極不法ヲ犯スカ如  
 シ、サレト、第一圖ニテハ、丙甲丙、イト良キ題ナレ  
 ハ、此兩約ノ位并テ、相換フレハ、禁リスルコトヲ

得へキナリ、サルニ又、**カ**約ノ位ヲ換フル時ハ、  
 時トシテハ、轉換ニ**モ**及**バ**ズアリ  
 ノ相換ヲナス時ハ、老少ノ極、其職掌ヲモ換ヘ  
 者カラ、其響キニテ、斷言ノ轉換ニ、至ルヘキナ  
 リ、故ニ還元ハ、時ニヨリテ、三ツノ法ヲ用フヘシ、  
 即チ約一ツ、又ハ二ツノ轉換、兩約位置ノ相換  
 [reposition] 斷言ノ轉換ナリ、此三ツノ法ヲ互  
 ニ用ヒテ還元ハ、出来ヘキコトナレト、唯第二圖  
 ノ甲丁丁、第三圖ノ丁甲丁、丁甲丁ヲ直チニ轉換ニ  
 カクヘカラザ**ル**ハ、**イ****ロ****レ**ニハ、**難**シトス、**モ**ハ對偶ノ法

北  
丁丁甲

式

教海ハ善導ノ者ナリ甲  
 或ハ善導ノ者ナリ甲  
 故ニ或ハ善導ノ者ナリ甲

右ラ此圖規則ニテ、  
 約ト及言對テ改ムハ

教海ハ善導ノ者ナリ甲  
 或ハ善導ノ者ナリ甲  
 故ニ或ハ善導ノ者ナリ甲

ニテ、其障ハリヲ去ルヘシ、ナヘテ此還元ノ法ト、  
 又正圖ト變格ト、諸軌ノ係ハリテ様トテ、示サ  
 ムトテ、舊クヨリ、拉丁語ノ、カノ國フリノ、歌ニ約  
 ノテ、記性ノ助ケニトテ、傳ヘタルヲ、今ハ表ニ寫  
 シテ、左ニ示スナリ

若クハ言對ニテ、約ト改ムハ、善導ノ者ナリ甲、老約ト改ムハ、  
 三正ノ形トナレナリ、又改言ハ元ノマニテ、否定ナルエ、兩約トモ肯定ナルトキハ、改言モマタ、肯定ナルトキトシテ、  
 通則ノ第四則ニ、皆キタルモノトナレナリ、**宜**レトク、**通**則ハ、**第**二圖、**圖**ニ、**三**用、**キ**モ、**ニ**テ、**還**元、**三**圖、**三**化、**上**  
 ハ不用ナルモノ、**然**レハ、**首**圖、**三**定、**則**ノ中、**三**老、**約**ノ者、**ハ**、**斷**言ノ者、**各**ラ、**定**トテ、**三**圖、**三**化、**上**  
 又、**火**極、**火**約、**三**全、**極**ニテ、**言**ニテ、**特**、**格**トシ、**且**、**首**圖、**三**定、**則**ノ中、**三**老、**約**ノ者、**ハ**、**斷**言ノ者、**各**ラ、**定**トテ、**三**圖、**三**化、**上**  
 皆キタルモノトナレリ、**通**則ノ第三則ノ老少、**不**、**法**、**三**皆、**リ**







此四ノ断言ナル丙ハ①ノ印ヲ付シタレトコレハ②ノ誤ナラン次ノ表ニ州レセテ音アル名ハ單轉換ニテ直スントアリテ③ノ断言ハ④ノ式ニテ第ニ圖ハ⑤ノ印ヲ付シテ

右ノ表ハ、第二三四圖ノ変格ヲ、其上、ニ當ル正圖

還元表九十軌

|  |  |   |  |      |
|--|--|---|--|------|
| 冬  | 秋  | 夏   | 春  | 第一圖  |
| 丁 <sup>①</sup> 乙 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 乙 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>   | 丙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>                  | 甲 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>                                 | ラバルバ |
| ト <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> 五 <sup>③</sup>   | イ <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> ダ <sup>③</sup>   | ト <sup>①</sup> イ <sup>②</sup> ラ <sup>③</sup> セ                |  |      |
| 南  | 東  | 北   | 第三圖  |      |
| 丁 <sup>①</sup> 乙 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 丙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 丁 <sup>①</sup> 丁 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>                  | コ <sup>①</sup> ロ <sup>②</sup> バ  |      |
| ノ <sup>①</sup> チ <sup>②</sup> ス <sup>③</sup> 五 | レ <sup>①</sup> サ <sup>②</sup> セ                |   |  |      |
| 御  | 禮  | 西   | 數  | 第四圖  |
| 丁 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>   | 丙 <sup>①</sup> 丙 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>                  | 甲 <sup>①</sup> 丁 <sup>②</sup>  |      |
| ント <sup>①</sup> アラ <sup>②</sup> 五              | チ <sup>①</sup> アラ <sup>②</sup> ダ               | ス <sup>①</sup> レ <sup>②</sup> ス <sup>③</sup> メ <sup>④</sup> カ | ド <sup>①</sup> ル <sup>②</sup> カ <sup>③</sup> ガ                               |      |
| 書  | 射  | 火   | 木  |      |
| 丁 <sup>①</sup> 乙 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>   | 丙 <sup>①</sup> 丙 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>                  | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 甲 <sup>③</sup>                                 |      |
| ソ <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> 五                | イ <sup>①</sup> チ <sup>②</sup> ダ                | ス <sup>①</sup> 子 <sup>②</sup> メ <sup>③</sup> カ                | ブ <sup>①</sup> キ <sup>②</sup> ン <sup>③</sup> マ <sup>④</sup> ラ <sup>⑤</sup> ブ |      |
| 金  | 樂  | 土   |  |      |
| 丁 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 乙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 乙 <sup>③</sup>                  |  |      |
| ホ <sup>①</sup> ガ <sup>②</sup> 五                | ハ <sup>①</sup> ミ <sup>②</sup> サ <sup>③</sup> チ | ス <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> マ <sup>③</sup> チ                |  |      |
| 水  |  |   |  |      |
| 丁 <sup>①</sup> 乙 <sup>②</sup> 丙 <sup>③</sup>   | 乙 <sup>①</sup> 甲 <sup>②</sup> 乙 <sup>③</sup>   |   |  |      |
| シ <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> 五                | ス <sup>①</sup> リ <sup>②</sup> マ <sup>③</sup> チ |   |  |      |

甲達ハ義ヲ好ム者也  
丙色ハトト者ハ義ヲ好ム者ニ非ス  
丙色ハトト者ハ義ヲ好ム者ニ非ス  
丙色ハトト者ハ義ヲ好ム者ニ非ス  
丙色ハトト者ハ義ヲ好ム者ニ非ス  
丙色ハトト者ハ義ヲ好ム者ニ非ス

ニ照シテ、之ヲ直スルキヨモ示シタルナリ、甲乙丙丁ノ下ノ左ナル、圈ノ内ノ標シハ、④、⑤、直チニ單轉換ニ、対ヘキヲ示シ、②ハ不足轉換、①ハ兩約位置、相換、③、反言對ヲ、用テヘキヲ示シタリ、春夏秋冬、單轉字ハ、假、五軌ノ名、トガル者ナレハ、次ノ圖ニ照シ見ルヘシ、下ノ方ニ、記ルズ名ハ、聊カ原名ヲ、遺サズ為ナリ、此原名ヲ、能、記シ得タラハ、容易ク直シ得ヘシ、ソハ先名頭ヲノ音、ビ、ブ、ベ、ボナラハ、正圖ノ一、即チ春ニ當リ、カキクケコナラハ、正圖ノ二、其ニ當リ、ダチツテド

ナラハ、正圖ノ三、秋ニ當リ、分ヲ分ヲナラハ、正  
 圖ノ四、冬ニ當ルト知ルヘシ、又バカダハノ如キ、  
 アノ韻アルハ、甲ナリ、ベケテ五ノエノ韻アルハ、  
 丙ナリ、ビキチヲ等イノ韻アルハ、乙ナリ、ボコト  
 子等オノ韻アルハ、丁ナリト知ルヘシ、又サシス  
 ソ等ノ音アル名ハ、單轉換ニテ、直スヘシ、カキク  
 コ等ノ音アルハ、反言對ニカクヘク、マミムモ等  
 ノ音ニハ位置相換タルヘク、パピポポ等ハ、全ヲ  
 特ニ、変ヌヘキヲ、示シタルナリ、コハ、少シク洋字  
 ニ通レタル輩ニハ、次ノ原文ニテ明カニ知ラル

Monemonic table.

*Barbara, celarent, prima  
 darii, ferioque:*  
*Cesare, caestres, festino,  
 baroco, secunda:*  
*Tertia darapti, disamis,  
 datisi, felapton, feriso,  
 bocardo habet:*  
*Quarta insuper addit,  
 bramantip, camenes, dimaris,  
 fesapo, fresison.*

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | e | i | o | b | c | d | f |
| 甲 | 丙 | 乙 | 丁 | 春 | 夏 | 秋 | 冬 |
| b | c | m | p |   |   |   |   |
| 單 | 反 | 位 | 錯 |   |   |   |   |

尚爰ニ上ノ四圖十九軌ヲ著ハシテ委シク之ヲ示スヘシ、觀ム者上ノ名ト相較セヨ

四圖十九軌之表

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <p>第九 禮</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p>  | <p>第五 東</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 少 中</p> | <p>第一 春</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p>  | <p>第二 夏</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> |
| <p>第十 樂</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p>  | <p>第六 西</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 少 中</p> | <p>第三 秋</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p>  | <p>第四 冬</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> |
| <p>第十一 射</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第七 南</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 少 中</p> | <p>第十二 御</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第八 北</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 少 中</p> |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| <p>第十三 書</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第十四 數</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第十五 水</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 中 少</p> | <p>第十六 火</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 老 中 少</p> |
| <p>第十七 土</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第十八 金</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> | <p>第十九 氷</p> <p>甲 乙 丙 丁</p> <p>○ 中 少 老</p> |  |

第二十二章 拗格諸題 [ultrasyllabics]

右ニ舉タル正格外ニ尚彼此ノ據證ニ備フヘキ者アリ、コハ正格ノ如ク、備ハリタル者ニ非レ氏、彼此ノ文、トモニ見ユルコトアレハ、心得ヘキコトナリ、一ツニハ、演題トマテ、ナラサル二題ニ

テ、前唱後和ヲ籠メタルヲ散體[enthymeme]ト云  
 フ、コハ「イハロナリ故ニ是等ハハナリ或ハ「イハ  
 ロニテハナリ又「イノロナルハハナレハナリナ  
 トノ類ヒナリ、カク三ツノ極備ハリタルハ、容易  
 ク本題ニ直スヘキナリ、ニツニハ、離合格[conjug  
 style and disjunctive]ト云フアリ、コハ物ノ真ト  
 フ、極メテ顯ハサシテ、徒ニ此物ト、彼物トノ係  
 ハリ合フ理リヲ、顯ハス者ナリ、故ニ此據證ニテ  
 ハ、曾テ三ツ目ノ真トニ、至クコトナリト知ルヘ  
 シ、離合格合テ、ニツトナス、一ツニハ、雙契體[dy  
 ph

別チ和ガ全クロデアカ  
 アナルガ確然ナラズ其  
 確然ナラサルモノヲ本ト  
 シテ、四ハナリ云ヒテハ  
 國ヨリ確カナラザルコ  
 ル

*pothetical conjunctive* ト云フ、コハトアル約束  
 ヲ立テ、トアル事ノ、相關ハレルヲ、明カス體ニテ、  
 肯定ニテ「イハロナリハ、ロハハナリ」否定ニテ「イ  
 ハロナラハ、ロハハニ非ルナリ」複題ニテ「イハロ  
 ナリ、ハハニナリセ、ハハナリナトノ類ヒナ  
 リ、初メノ題ニテ、言ハハ、ロトハトノ係ハリ合ハ  
 イト明カナレト、コハ「イハロトハトノ係ハリ合、定マ  
 リテ後ニ、立ツヘキコトニテ、本トロトハ、定カナ  
 ラヌカ如シ、他シ一ツハ離攝體[disjunctive]ト  
 云フ、コハ、正シク上ト相背キテ、全體ニテハ、定カ

ナレト現在ハ反テ定カナラ又様ニテ、イハロ。若  
 クハハカリ又、イハロニ非レハ必スハナリナト  
 ノ如ク、ロトハトノ内、一ツハ真ト一ツハ偽ハリ  
 ニテ、定メ難キナリ、其否定又複題モ、推シテ知ル  
 べシ、此中、*雙契體*ヲ、イト重子タルアリ、コラハ唯  
 約契體 [*hypothetical*] ト云フ、譬へハ、イハロ。カリ、  
 ロハハナレド、ロハニナリ、故ニロハホナリナト  
 ノ如シ、致知學ノ本書ニ、考フヘシ、是ニ種々ノ説  
 アレト遂ニ真トヲ顯ハスコトナリ、三ツニハ、渾  
 體 [*socties*] 又連環體 [*chain arguments*] ト云フア

リ、コハ、多クノ少約ヲ重子タルニテ、其順體ハ、イ  
 ハロナリ、ロハハナリ、ハハニナリ、ニハホナリ故  
 ニホハイナリ、其逆體 [*pooleman socties*] ハ、ニハホ  
 ナリ、ハハニナリ、ロハハナリ、イハロナリ、故ニイ  
 ハホナリナトノ如シ、コハ、正格ニ直スコトヲ得  
 へシ、譬へハ、イヨリ上、三ツノ極ヲ、取りタラハ、ロ  
 ハハナリ、イハロナリ、故ニイハハナリナトノ如  
 シ、カク極ノ多キニ因テ、演題ノ三ツトモ、四ツト  
 モナスヘシ、四ツニハ、此連環體ト、前ノ雙契體ト  
 相交レル者ヲ、二重體 [*double*] ト云フ、其例シ左

ノ如シ  
 老約イハ口ナリトシ又ハハニナリトセハ  
 少約今イモ口ナリ又ハモニナリ  
 断言カレホハナリ  
 又老約イハ口ナリトセハハニナリトモ又  
 少約然レ氏ハモニニ非ス又ホモヘニ非ル  
 断言カレイハ口ニ非ルナリ

カ、ル體モ昔ヨリ致知學家ニテ種々ノ論ラヒ  
 ヲ經テ心ヲ盡シテ委シク究ハメツル者アリケ  
 レト、徒ニ奇ラシキヲ好ムノミテ、真トヲ顯ハ  
 ス便リニモナリ難キコト多シト云ヘリ、中ニモ、  
 此ニ重體ハ、詭論ニ陥ルコト多キソカシ、ソハ次  
 ニ見ヨ  
 第二十三章 真偽易混  
 此書ニテ前方ヨリ屢偽ハリ又偽題「*for Vasey*」ト  
 云フ語ヲ用ヒツコハ、度量形質ナトノ見損ヒヨ  
 リ題ノ内ニ、隠ヒコミタル誤リナリコハ學ヒノ

未タ積ミヤラヌ際ハ有リ勝ナルコトナルヲ今  
 云ヘル詭論 *deposition* テハイト容レ難キ業  
 ニテ己カ過チヲ飾リ非ヲ遂ケ人ヲ偽ハリニ陷  
 シ入レナムト謀ルヨリ出ツルコトナリ今ハ此  
 詭論ノ例シトテカノ希臘ヨリ傳ハリタル名高  
 キ話シテ一ツニツ擧ナム此詭論ニ種々ノ類ヒ  
 アルカ中ニ二重題ノ詭論ノイト欺カレ易クシ  
 テ斷言ニツニテ何レカ真トナリトモ判チ難キ  
 程ナリ其一ツヲ鰐魚ト老嫗ノ争ヒト云フ昔埃  
 及ニテ嫗ノ己カ見連レテ尼羅ノ河邊ニ至リケ

ルカ其兒鰐魚ニ捕ラレテケレハ嫗鰐魚ニ向ヒ  
 テイト懇ロニ返シテ給ヘト乞ヒケルニソ鰐魚  
 對ヘテ吾此兒ヲ如何ニスラム汝真ニ言ヒ當ナ  
 ハ返シテムト云フ嫗對ヘテヨモヤ汝ハ其兒ヲ  
 我ニ返ヘスマジト云フ此時鰐云フヤウ汝ノ言  
 ヒシ所真トナラハ我其真トニ背キテ此兒ヲ返  
 スヘカラスモシ汝カ言ヒシ所偽リナラハ吾ハ  
 真ナラハ返ヘシテムトコソ言ヒツレ争カハ此  
 子ヲ返ヘスヘキトアリケルニク嫗對ヘテ吾真  
 ニ言當タラハ汝契リシ隨ニ我ニ返ヘスヘシ又



吾言ヒシコトノ當テ又テハ、汝先我ニ其見ヲ、  
 返ヘシタル上、ニテコソ有ヘケレ、サレハ、何レノ  
 道ニモ、其見ハ我ニ返ヘスヘシト、カクナム言ヒ  
 争ヒケルハ、何レカ真ナルヘキ、又昔シ希臘ニ埃  
 華多拉斯ト云ヘル人アリ、普魯太格羅斯テス、其  
 頃ノ名高キ詭論家ニ就テ、狀師ノ道ヲ學ビニケ  
 ルカ、埃華多拉斯ハ、家富ニ財饒カナリケレハ、師  
 ニ契リテ、學果テ、初メテノ訟ヘニ、勝チナハ、若干  
 ノ謝銀ヲ、償ヒナムト、云ヘリ、サテ學ヒ果テ、月日  
 ヲ歴ヌレト埃華多拉斯訴ヘテナサ、ケル程

ニ、普魯太格羅斯堪、カチテ、促カンケルニソ、遂ニ  
 此事ニテ、訟トハナリケリ、サテ師ノ言フニハ、吾  
 此訟ヘニ勝チナハ、汝公ケノ法ニ從カヒ、素ヨリ、  
 吾ニ過金ヲ償フヘレ、モシ又、吾負ケナハ、汝我カ  
 教ヘニ因テ、勝チタル故、吾ニ謝金ヲ、出スヘシト  
 アリケルニ、弟子對ヘテ、吾勝チナハ、素ヨリ、過金  
 ヲ償フヘキ理リナシ、又吾負ケナハ、争テ謝金ヲ  
 出スヘキ、吾ハ勝チタリトモ、負ケタリトモ、金ハ  
 償ナハシト争ヒケルトナム、コモ又何レカ真ト  
 ナリヤ

第二十四章 模範諸種

致知學家ノ著ハセル諸本、年ニ踵キ、月ニ新クニ  
 シテ、其模範 [system] ノ立、方モ、從ヒテ異ナリ、或  
 ハ前ノ互證ヲ、全ク同一不同一ノ條下ニ論ラヒ、  
 之ヲ以テ辨決ノ運用トシ、或ハ正格ノ演題ト扱  
 體ノ諸題トテ、並ヘ列ラテ、辨決ノ體ニ、確定 [case]  
 [posited] 約契 [hypothetical] 離撰 [disjunctive] 三  
 ヲアリトスルナト、或ハ專ラ學トシテ、爰ヲ第十  
 三章ヨリ、前ツ方ヲ、詳カニシタルト、或ハ其後ヲ  
 精シクシタルナト、種々ノ異リアリテ、舉ケ悉ス

ヘキニ非ス、又ナヘテノ規則モ、大方ハ、前ニ示シ  
 ツル如シト雖、其詳カナルコトハ、尚數十ノ卷  
 ヲ重<sup>キ</sup>ヌトモ、盡スヘキニ非ス、中ニハ、種々ノ圖ナ  
 トニテ、サル考ヘノ、相係ハレル様ヲ、示セルナト  
 モアリ、コハ皆其原ツ書ニ、譲リテ、爰ニハ漏シツ、  
 又前ニモ、云ヒツル如ク、四圖ヲ取ト、取ラサルト、  
 其說區々ニテ、多クハ第一圖ニノ<sup>リ</sup>限レリ [obvius]  
 [to] [the] [Immanuel] [Steuert], [his] [William] [Shand],  
 [ton] 余モ精シクハ、究ノ得子ト、多キニ從フヲ、善カ  
 ノリト欲フナリ、<sup>サ</sup>此四圖ノ官能ヲ、手短カ

ニ説キテ、其用例ヲ舉ケナム、サテ、此四圖ノ用法  
 モ精シキ論ラヒアルカ中ニ、第一圖ハ、學術上ニ  
 本ツキタル考ヘテ、辞ニ措クニ、殊ニ能、適ヒタル  
 式ニテ、殊別ノ一體ヲ取テ、萬ツニ貫通スル一理  
 [principle]ノ内ニ、包摂セシムル者ナリ故ニ  
 名ケテ、包摂 [subsumption]ノ圖ト云フ、譬ヘハ、得  
 ヘカラサルノ道ニ從フハ、惑ヒナリ、好惡ニ因テ  
 生死ヲ欲スルハ、得ヘカラサルノ道ニ從フナリ  
 カレ、好惡ニ因テ生死ヲ欲スルハ、惑ヒナリナト  
 ノ如ク、惑フテフコト、多キカ中ニ、求ムル得ヘカ

好惡ニ因テ生死ヲ欲スル  
 此ト云フ殊別ノ一卦ヲ  
 惑ヒト云フ万ツニ貫通  
 せん一理ノ内ニ包摂ス  
 ルナリ

ラサルノ道ニ從テ、其然ラムヲ欲スルハ、惑ヒノ  
 一ツナリ、而テ又求メ得難キ道ニ從フコトモ、數  
 多アルカ中ニ、今愛スル時ハ、生キムヲ欲シ、惡ム  
 時ハ、死ナムヲ欲スルハ、求ムヘカラサルコトノ  
 一ツナレハ、是亦惑ヒナリト、辨決レテ、惑ヒテフ  
 老極ハ、求メ得ヘカラサル道ニ從フテ、中極ヲ  
 包摂シ、求メ得ヘカラサル道テ、中極ハ、愛シテ  
 生キムヲ欲シ、惡ミテ死ナムヲ欲スルテ、事實  
 ヲ包摂シタリト見ル、是第一圖ノ用法ナリ、第二  
 圖ハ、考ヘテ、陳ルニ、落チ着カヌ所多シ、然レモ、否

定ヲ宗ト立ル題ニハ、第一圖ニ劣フ又カアリ尋  
 常ノ據證ハ、此ニ出ルコト多シト云ヘリ之ヲ反  
 證 [opposition] ノ圖ト云フ譬ヘハ、違人ハ質直  
 ニシテ、義ヲ好ム者ナリ、色ニ仁ヲ取ル者ハ、義ヲ  
 好ム者ニ非ルナリ、カレ、色ニ仁ヲ取ル者ハ、違人  
 ニ非ルナリナトノ如シ、第三圖ハ肯定ヲ比喻ノ  
 式 [examples] ト云ヒ、否定ヲ除類ノ式 [exclusion  
 case] ト云フ、類ヨリ除クヲ云フナリ、比喻トハ、譬  
 へハ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ先其器ヲ利ス  
 ル者ナリ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ工人ナリ

第三圖ノ礼  
 甲 其事ヲ善セム者  
 乙 先其器ヲ利ス者

此少約ハ其事ヲ善セム  
 トスル者ハ彼ノ工人ノ如シ  
 ト云フ、位ノ意高ニテ  
 全持タシカニナシ難

ハ先其器ヲ利ス者也  
 甲 其事ヲ善セム者  
 乙 先其器ヲ利ス者  
 工人也  
 乙 改ニ云ハ先其器ヲ  
 利スル者也

右ラ少約ノ不定轉換  
 三ノ第一圖ノ秋ニナカ  
 セバカクノ如シ  
 甲 其事ヲ善セム者  
 乙 先其器ヲ利ス者  
 乙 改ニ云ハ先其器ヲ  
 利スル者也

正モノニツグ集リテ曰  
 ト云フ、物ヲ善セム者  
 又正モノニツハ、中  
 ニ合マレテナルモノナリ故  
 ニ四ハ、中ノ一部ナリ

カレ工人ハ先其器ヲ利スル者ナリナトノ如ク  
 少約ニテ、其事ヲ善セムト欲シテ、器ヲ利スル者  
 ノ一例ヲ示スナリ、今之ヲ不定轉換ニカケテ第  
 三圖ノ禮ヨリ、第一圖ノ秋ニ直ス時ハ極ノナリ穩  
 カナリト雖、其ニテハ唯工人ノ事ヲ説ク者ト  
 ナルナリ、又哈美拉頓氏ノ説云、此第三圖ハ、歸納  
 即チ成類 [constitution] ノ圖ナリト云ヘリ、其式  
 正モノニツグ集リテ曰  
 ト云フ、物ヲ善セム者  
 又正モノニツハ、中  
 ニ合マレテナルモノナリ故  
 ニ四ハ、中ノ一部ナリ

忠信ヲ主トシ義ニ従ルト  
素ヲ主トシ進ム者ナリ  
忠信ヲ主トシ義ニ従ルト  
素ヲ主トシ進ム者ナリ  
忠信ヲ主トシ義ニ従ルト  
素ヲ主トシ進ム者ナリ

賢事ハ仁ヲ友トスレバ  
先其器ヲ利シテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ

一テ、譬へハ忠信ヲ主トシ、義ニ従ル者ハ徳ヲ崇  
ウスル者ナリ。忠信ヲ主トシ、義ニ従ル者ハ素ヲ  
リテ進ム者ナリ。カレ、素アリテ進ム者ハ徳ヲ崇  
ウスル者ナリ。ナトノ如ク、忠信ヲ主トシ、義ニ従  
ルテフ、ニツノ事實ノ如キハ、素アリテ進ムノ  
ニテ、素アリテ進ム者ハ、終テ徳ヲ崇ウスル類ヲ  
成ヌ者ト見ルナリ。第四圖ハ、其用稀ナリ、之ヲ交  
互ノ式「reciprocity」ト云フ。譬へハ、賢ニ事ハ仁  
ヲ友トスル者ハ、先其器ヲ利スル者ナリ。先其器  
ヲ利スル者ハ、其事ヲ善クセムト欲スル者ナリ。カ

賢事ハ仁ヲ友トスレバ  
先其器ヲ利シテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ  
事ヲ善クシテ

レ、其事ヲ善クセムト欲スル者ハ賢ニ事ハ仁ヲ友  
トスル者ナリ。ナトノ如ク、之ヲ交互ト云フハ、賢  
ニ事ハ仁ヲ友トスル者ハ、其事ヲ善クセムト欲ス  
ル者ナリ。其事ヲ善クセムト欲スル者ハ、先其器ヲ  
利スル者ナリ。カレ、先其器ヲ利スル者ハ、賢ニ事  
ハ仁ヲ友トスル者ナリ。ニテモ同レキカ如ク、是  
ノ四圖ノ用法ナル

此書ノ第一章ニ略云ヒレカ如ク、此書ハ唯舊キ  
致知學ノ命題ヨリ、演題ニ至ルマテノ法則ヲ、梗

概論ラヒテ、初學ヒノ措擄ホケバシトナシツルマテニテ、  
 新シキ致知學人歸納ノ法ハ、固ヨリ約翰士低亞  
 多彌爾氏ノ致知軌範ニ、讓ラムト思ヒタルニサ  
 ハ、猶一、通り論ラヒテ、學者ニ、其緒ヲ示サ  
 テハ、得モ已ムマシキコトアルナリ、ソハ、演繹deduction  
 「ト、歸納induction」ト、二ツノ差  
 ナリ、是ヲモ前ノ第十章ニ、鉤引套挿ノ術ヲ姑ク  
 名ヲ命シテ、示シツルコトナルカ、受ニテハ、致知  
 學ノ全體ニ係ハリテ、廣ク致知ノ術ニ、二ツノ道  
 アルコトヲ、明カスナリ、先、今マテ舉ケタル演題ニ

演繹  
 主位ヨリ屬性ヲ鉤引レ  
 下位トスル運用ヲ  
 歸納ト云フ、月ハ清キ  
 清キ也、如レ月ハ清キ  
 性ヲ具ハタルモノナリ  
 中ノラヲ以テ、歸納トス  
 下位トスル運用ヲ  
 歸納ト云フ、月ハ清キ  
 性ヲ具ハタルモノナリ  
 中ノラヲ以テ、歸納トス

全稱ヲ差主ト云ヒ特  
 標ヲ差客ト云フ

テハ、其老約ニテ通理。[*proliferate*]ヲ、掲ケ示ス者ニ  
 テ、差主ヨリ、差客ニ涉リ、其通理ヲ、演繹シテ、斷言  
 ニテ、特稱ノ者ヲ、斷ハルナリ、譬ヘハ、似テ非ナル  
 者ハ、真ヲ害スル者ナリ、莠ハ、稻ニ似テ非ナル者  
 ナリ、カレ莠ハ、真ヲ害スル者ナリト云フカ、如ク  
 老約ハ、通理ヲ掲ケ示シタルハ、凡テ、似テ非ナル  
 者ハ、真ヲ害スルコトヲ指シ、誰ニモ、能知レタル  
 通理ニテ、獨リ莠ノ稻ニ似タルヲミナラス、郷愿  
 ノ君子ニ似タル諂諛ノ恭讓ニ似タル、頑固ノ剛  
 毅ニ似タル、何ニテモ、似テ非ナル者ハ、此性ヲ具

へサルナシ、是郷愿諂諛頑固等ノ字ヲ、少極トナ  
 シテ、少シモ、通セサルコトナク、極メテ能、適ヒタ  
 ルニテ、知ルヘシ、故ニ少約ハ必ス老約ノ理ヲ、演  
 繹シテ之ヲ一物若クハ一ツノ事實ニ、結ヒツケ  
 テ、示ス者ナルカ故ニ、之ヲ演繹ノ法トハ、云フナ  
 リ、サレハ、此老約ノ通理モ、真ヲ得サル時ハ、偽  
 題ニ陥ルノ危キニ演スルハ、言ヲ待、スルテ、是演  
 繹ノ法ハ、真理ヲ徹スルニ、足ラサル所ナリ、或説  
 三、演題ヲ難シテ、老約ノ全称ヨリ、少約ノ特称ニ  
 移レハ、特ハ既ニ全ノ内ニ、含マタル物ナルカ故

ニ、断言ハ入ラヌコトナリ、譬ヘハ、人ハ死スヘキ  
 者ナリ、辨慶ハ人ヲリ、カレ辨慶ハ死スヘキ者ナ  
 リ、言ハ、人ハト指ス内ニ、既ニ辨慶モ、籠リタ  
 ル故ニ、断言ニテ、カレ辨慶ハト、再ヒ繰リ反スハ、  
 益ナキコトニテ、演題ハ何ノ値ヒモ無キ者ナリ  
 ト云ヘリ此難題、深ク致知學家ノ骨ニ徹リテ、イ  
 ト痛キ難シナレト、サレハトテ、演題モ、難助ニ属  
 シテ、捨テモヤラテ、種々ノ説ヲ、立ツル中ニ、彌爾  
 氏ニ至リ、始メテ、之カ發明ヲナシテ、演題ハ、演繹  
 ニハアラテ、正シク歸納ノ法ナリト云ヘリ、ソハ

持抄より全稱へ進ムラニ  
差主一進トモテ

賜納ノ法ハ、差客ヨリ差主ニ進即チ持ヨリ全ニ若  
クハ持ヨリ持ニ推ス者ナルニ、老約ノ通理ハ、多  
少特別ノ經驗ヲ集メテ、合セ立テタル者ナレハ、譬  
ヘハ、前題ノ老約ハ、頼朝モ、義經モ、景時モ、其外古  
今ハ人モ、死ニキト、言フニ均シク、唯言語ノ術ニ  
テ、纏メテ人ト言セタル者ナレハ、本ハ亦持ヨリ  
特ニ移ル者ナリト、此發明ニテ、或説ノ難題ヲモ  
解キ、且前人ノ演繹トノミ、心得タルヲ翻ヘシテ、  
演題モ再ヒ、其用ヲナスコトトハナリヌ、サレハ、  
凡テ吾人ノ、智識ノ開ケユク道ハ、皆此歸納ノ法

ニ由ル者ニテ、是ソ必ス親シク視察 *Observations*  
ノ經、經驗上 *empirical* ニ本ツキ各自殊別ノ  
事實ヲ集合シテ、貫通セル一理ヲ得ヘキ切實無  
ニノ方法ナル、從來心理上 *intellectual* ノ諸學  
ニ在テハ、諸家率チ、カノ演繹ノ法ニ依テ事ヲ論  
スルモ、カヲ紛拏喧惑、今日ニ至ルマテ、一定歸  
着ノ論鮮キヲ、カノ物理上 *physical* ノ諸學家ニ  
テハ、舊クヨリ一意ニ歸納ノ法ニ從事セルヨリ  
今日ニ至リ、確乎不拔、彼カ如ク、其盛ナルヲ致セ  
リ、サレハ、學者亦爰ニ從事スヘキコト、言フ待タ



スレテ明カナルコトニテ、彌爾氏ノ致知軌範ニ、  
 各個之事實若各個之現象者、一個若數個之理法  
 以貫通之。[Every fact or phenomenon is governed  
 by a law or laws]ト、理ノ本體ヲ示シ、又同一、  
 因緣生同一應効。[Like causes produce like effects]  
 ト云ク探蹟ノ單元ヲ立テ、而テ之ヲ試驗上  
 講究ノ術。[The power methods of experimental  
 inquiry]ニ曰ク一致。[agreement]ト曰ク別異。[dis-  
 ference]ト曰ク剩遺。[residues]ト曰ク伴結之差。  
 [Concomitant variation]トテ、四法ヲ開示セリ、學者

コレ之ヲ本書ニ講究セヨ

致知啟蒙第二卷終大尾



